

第 8 次地域保健医療計画 利根保健医療圏 圏域別取組の令和 6 年度取組実績調査票

1 脳卒中医療

（目標）

- ・ 予防・早期発見重視の観点から、医療機関、医師会、医療保険者、市町で連携を強化し、健康教育や保健指導等予防のための取組を行います。
- ・ 脳卒中の予後改善を図るため、プレホスピタル・ケア（病院前救護）、急性期医療から回復期、生活期（維持期）までの医療連携体制の構築を推進します。
- ・ 患者が病期に応じ、適切な治療やケアが享受できるよう医療情報システムや介護・福祉サービスの情報提供を行います。

実施主体	主な取組	機関名	令和 6 年度実施計画	令和 6 年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	脳卒中に対応できる医療機関、医療機能等の住民への情報提供、正しい知識の普及啓発	北埼玉医師会	○各医療機関から患者様に丁寧な情報提供を行うように努める。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	市報やパンフレットにより脳ドックの情報提供。 行田中央総合病院による頭痛診療など一般市民への啓発。 養護教諭対象研修等施行。	市報やパンフレットにより脳ドックの情報提供。 行田中央総合病院による頭痛診療など一般市民への啓発。 養護教諭対象研修等施行した。	会長
		埼玉歯科医師会	地域連携病院との関係強化	研修会等を通じ、多職種と情報共有し連携を強化した。	理事
		杉戸・宮代薬剤師会	会員薬局窓口での情報提供	脳卒中に関するリーフレットや地域医療機関マップの設置・配布。 「脳卒中の前兆」や「FASTチェック」など、早期受診を促す啓発ポスターの掲示など。	
		行田中央総合病院	○頭痛診療など一般市民の啓発 ○養護教諭対象研修会施行	○頭痛外来の実施 ○養護教諭対象研修会の実施	
		行田総合病院	○病院ホームページや病院広報誌、地域連携だよりなどで情報提供をする。	○ホームページ、病院広報誌、地域連携だよりを適宜改訂し、住民向けに脳卒中に対する情報提供を行った。	地域医療連携室
		羽生総合病院	○埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク基幹型病院となり救急受入れ体制を強化していく。 定期発行している広報誌・又電子媒体を有効活用し情報発信を行っていく。	○救急の受け入れを予定通り行う事ができた。 ○定期的に発行している広報誌・又電子媒体を有効活用して院内の情報発信する事ができた。	広報委員会 情報室 関係職員
		済生会加須病院	○地域医療機関との連携強化と症例検討会や市民講座を開催する。 ○広報誌やホームページ上での情報提供を実施する。	○地域医師会と脳卒中疾患の症例検討会を開催し、症例の検討と当院の脳神経外科の体制について情報共有を行った。 ○脳外科の治療実績を掲載し、随時更新を行った。	地域連携課
		新久喜総合病院	救急症例検討会、健康教室を再開	院内会議室にての健康教室（週 1 回開催）や院外での出張健康教室においての地域住民への啓蒙及び救急隊との救急症例検討会にて現状の報告、意見交換を行った	地域連携室
		堀中病院	動脈硬化症等の治療によりリスクの軽減 管理栄養士による栄養指導の推進	動脈硬化症等の治療約 1000 人 管理栄養士による指導約 60 件	関係各部署
		国立病院機構東埼玉病院	○近隣市町の地域住民を対象として「市民健康講座」等を継続開催し、運動指導等の啓発を行う。	○近隣市町の地域住民等を対象とした「市民健康講座」は感染症拡大防止のため中止とした。	リハビリテーション科・地域医療連携室

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体		蓮田病院	病状や症状に対しての情報をディスプレイに掲載を続ける。	脳外科医師が不在だったため、ディスプレイに掲載する資料がなかった。着任後作成予定であり作成中。	地域医療連携室
		東埼玉総合病院	○ホームページや院内掲示にて積極的な情報提供に努める。 ○「地域連携の会」を開催し地域の医療機関、在宅医療機関等との情報交換を実施する。	○ホームページや広報資料などで脳卒中の診療体制を情報提供した。 ○「地域連携の会」を開催し、地域の参加医療機関に対して医療講演をおこなった。	地域医療推進部
		白岡中央総合病院	○病院広報誌等にて地域住民へ脳卒中に対する啓蒙活動を行う。 ○管理栄養士が患者を訪問し栄養情報提供加算に規定する特別食以外に脳血管疾患予防に対する栄養指導を行う。	○ホームページや診療案内を更新し、地域の医療機関、施設、住民への発信を行った。 ○管理栄養士が患者を訪問し栄養情報提供加算に規定する特別食以外に脳血管疾患予防に対する栄養指導を実施。	地域・医療連携部 栄養科
	脳卒中ハイリスク者に対する医学的管理、医療保険者による保健指導の充実	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	市内3病院において脳ドックを実施。 市内2病院で急性期の治療を行っているが今後は回復病床の充実が望まれる。	市内3病院において脳ドックを実施。 市内2病院で急性期の治療を行っているが今後は回復病床の充実が望まれる。	会長
		南埼玉郡市医師会	○会員医療機関において、特定健診28,000件を実施予定。	○会員医療機関において、特定健診25,978件を実施	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	会員薬局において投薬にあたり適切な服薬指導を実施する。	脳卒中予防のために降圧薬・糖尿病治療薬・抗血栓薬等を服用している患者に対し、薬局で継続的な服薬指導を実施。	
		行田中央総合病院	○特定保健指導（動機づけ支援、積極的支援）の実施 ○脳ドックの実施 ○頭痛外来の実施 ○栄養指導の推進	○特定保健指導 動機づけ支援 86件 積極的支援 25件 ○脳ドック 435件 画像診断等リスク評価や受診勧奨を行う ○頭痛外来 705名 画像診断等リスク評価や生活指導・受診勧奨を行う ○栄養指導 入院 92件 外来 91件 計 183件	健康管理センター 栄養科
		行田総合病院	○脳ドックの推進 ○栄養指導の充実	○ホームページ、病院広報誌、地域連携だよりなどで住民向けに脳卒中に対する情報提供を行いながら脳ドック受診を推進した。 ○健診特集のリーフレットを作成した。 ○高血圧や脂質異常症患者に対しての栄養指導を行った。	健診担当 栄養科
		羽生総合病院	・健診結果から二次精査に繋がるように結果案内等を進めていく。 ・保健指導の場などで2次精査への案内を行う。	○健診結果から二次精査に繋がるように結果案内を送れた。 ○保健指導の場などで2次精査への案内が出来た。	健康 管理センター
		済生会加須病院	○脳ドックの実施（月～金） ○特定保健指導の実施 ○広報誌を通じての、市民への健康診断・特定保健指導の必要性啓蒙活動	○脳ドック実施件数 149件 ○特定保健指導実施件数 98件 ○健康に関するチラシ配布 ○地域住民向けの健康に関する講演会の実施	健診センター
		新久喜総合病院	脳ドックの推進(MRI検査・頭部超音波検査)、広報誌等による啓蒙活動	脳ドックキャンペーン等の受診啓蒙を図った	健康管理センター
		蓮田病院	後方活動を行い脳ドックの推進。	検査実績：111人 要精密受診者は受診勧奨。	検診センター
		東埼玉総合病院	脳卒中リスクを高める生活習慣に対する保健指導を実施する。	脳卒中リスクを高める生活習慣に対する保健指導を実施した。	診療部
		白岡中央総合病院	○健康診断にて有所見者の方に対して外来受診勧奨 ○脳ドックの推進	○健康診断にて有所見者の方に対して外来受診勧奨 ○脳ドックの午後の時間帯の予約枠の増設	健康管理課

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワークなどの連携体制の促進	北埼玉医師会	○学術講演会、地域医療セミナー等を通じて顔の見える連携体制の強化を計る。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	行田総合病院が参加。	行田総合病院が参加。	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	地域連携会議・講習会等への参加・協力	医療機関や行政との多職種連携の場に薬剤師会として参画。	
		行田総合病院	○埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク（SSN）への基幹病院として医療機関と消防機関との連携を促進する。 ○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会に参加する	○埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク（SSN）の基幹病院として指定を受けており、地域の医療機関向けに脳神経外科ホットラインの電話番号を案内し、終日脳卒中患者の受け入れを積極的に行った。 ○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究会に参加した。	救急部門 地域医療連携室
		羽生総合病院	・救急受け入れを積極的に行い、地域の方へ救急受け入れ体制の強化、脳神経外科の診療科内の充実を院内部署にて連携して充実を図る。 ・埼玉県急性期脳梗塞治療ネットワーク基幹型病院となる。	○救急車の受け入れを積極的に行う事が出来た。 ○医療体制の充実化を行う事が出来た。	救急委員会 救急部門 総務課
		済生会加須病院	○一次脳卒中センターコア施設に申請し、脳卒中に関して地域の中心を担う。	○人員の関係でコア施設の認定は取得できず、一次脳卒中センターとして、脳卒中診療にあたった。 ○t-PA静注療法、血栓回収術施行件数は、それぞれ54件、64件であり、前年度より増加した。	診療統括部 (脳神経外科)
		新久喜総合病院	救急症例検討会、健康教室を開催しSSNへの当院の取り組みを周知	院内会議室にての健康教室（週1回開催）や院外での出張健康教室においての地域住民への啓蒙及び救急隊との救急症例検討会にて現状の報告、意見交換を行った	地域連携室
		蓮田病院	他病院からの勉強会や研修会のお知らせを院内へ周知、参加希望の窓口となり参加を促した。	勉強会・研修の院内周知は行ったが、参加の有無については確認できなかった。	地域医療連携室
		東埼玉総合病院	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究情報交換会に参加 ○脳卒中地域連携パスの運用継続 ○PSC申請施設 医療ソーシャルワーカー（MSW）連携の会に参加	○埼玉県医師会脳卒中地域連携研究情報交換会（Web開催）に参加した。 ○年間65件の脳卒中地域連携パスを運用した。 ○PSC申請施設 医療ソーシャルワーカー（MSW）連携の会に参加した。	地域医療推進部
		白岡中央総合病院	○埼玉県脳卒中地域連携研究会への参加 ○救急隊との症例検討・意見交換を目的にした会を開催 ○SSN参加医療機関との日頃からの連携強化	○埼玉県脳卒中地域連携研究会参加 ○救急隊との症例検討・意見交換会未開催 ○SSN参加医療機関への定期的な訪問、医療連携を実施。14件の脳卒中連携パスの運用。	地域・医療 連携部
医療機関 医師会 歯科医師会	患者を支える多職種連携体制の構築	北埼玉医師会	○MCSを用いた「北彩あんしんリンク」の更なる充実に努める。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	入退院調整を継続。更に普及啓発・研修・ICT／情報共有作業部会に会員が参画し医師会主導で患者を支える連携体制を構築。会員参加による作成動画を活用したMCSの研修予定。	入退院調整を継続。更に普及啓発・研修・ICT／情報共有作業部会に会員が参画し医師会主導で患者を支える連携体制を構築。会員参加による作成動画を活用したMCSの研修を随時開催。	会長
		羽生市薬剤師会	ケアマネジャーとの合同勉強会	ケアマネ会と薬剤師会で合同勉強会を実施	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	地域ケア会議・連携会議への参加	地域包括支援センターや医療介護連携会議に、薬剤師会として参加・意見交換	
		行田中央総合病院	併設された行田市医師会在宅医療介護連携支援センターで脳卒中の入院から施設・在宅まで、患者を支える多職種連携体制を充実	併設された行田市医師会在宅医療介護連携支援センターで脳卒中の入院から施設・在宅まで、患者を支える多職種連携体制を構築。 相談件数 R6/3479件	地域医療連携室

薬剤師会 各団体	性達防停制の情未	行田総合病院	○脳卒中地域連携パスの活用 ○急性期患者、回復期リハビリテーション病棟への受入れの強化	○脳卒中地域連携パスの活用を推進した。 ○脳卒中患者の24時間受入れ体制の構築を行った。 ○回復期リハビリテーション病棟へ外部受け入れを積極的に行った。	地域医療連携室
		羽生総合病院	・入退院調整会議を慎重に多くの回数を行う。 ・褥瘡対策委員会 ・ACP支援委員会 ・栄養サポートチーム	・入退院調整会議を慎重に多くの回数を行った。 ・褥瘡対策委員会の運営 ・ACP支援委員会の運営 ・栄養サポートチームによる患者さんへの対応	褥瘡体躯委員会 ACP支援委員会 栄養サポート チーム 関係部署
		白岡中央総合病院	○脳卒中連携パスの活用	脳卒中連携パス実績 14件	地域・医療 連携部

第8次地域保健医療計画 利根保健医療圏 圏域別取組の令和6年度取組実績調査票

2 糖尿病医療

（目標）

- ・ 特定健診・保健指導を効率的効果的に実施し、生活習慣の改善を図り、糖尿病予防に努めます。
- ・ 糖尿病性腎症重症化予防対策を推進します。
- ・ 早期診断された患者の合併症予防のために、医療機関において専門職による保健指導が受けられる機会を増やします。
- ・ 保健指導を担う専門職（非正規職員も含む）のスキルアップ化を図るため、県及び専門機関主催の研修会を通じ、地域保健・職域保健関係者の連携体制を推進します。

実施主体	主な取組	機関名	令和6年度実施計画	令和6年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	特定健診・保健指導の効果的な実施	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	各医療機関で特定健診に協力している。 令和5年度より特定保健指導にも協力している。 薬剤師会で市内薬局で検体検査（HbA1c）施行のため受診勧奨する。	各医療機関で特定健診に協力している。 令和5年度より特定保健指導にも協力している。 薬剤師会で市内薬局で検体検査（HbA1c）施行のため受診勧奨した。	会長
		埼玉歯科医師会	特定健診の充実を図る	成人歯周病歯科健を実施し、歯科保健指導を行い、要治療者には受診の勧奨を行った。	理事
		羽生市薬剤師会	特定健診受診勧奨	会員薬局にて特定健診受診勧奨 糖尿病予備軍患者へは生活習慣のアドバイスを実施	会長
		幸手薬剤師会	特定健診受診勧奨	各薬局にて、特定検診受診勧奨、糖尿病早期発見の取り組み	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	健診後のフォロー支援（薬局での継続的関わり）	健診で生活習慣病リスクが高いと判定された住民に対して、薬局で服薬相談・生活習慣改善支援	
		行田中央総合病院	○特定健診の受入れ体制の強化 ○特定保健指導の受診勧奨の強化 ○栄養指導の推進	○特定健診 1908件 ○特定保健指導 111件 動機づけ支援 86件 積極的支援 25件 ○栄養指導 入院 92件 外来 91件 計 183件	健康管理センター 栄養科
		行田総合病院	○特定健診受入れ体制の充実を図る ○特定健診に対する病院広報誌での情報提供 ○早期改善、重症化予防のための栄養指導を実施する。	○特定健診の受け入れを行い、糖尿病、生活習慣病の治療が必要な方に対してかかりつけ医や当院での受診を促した。 ○広報誌やホームページで特定健診の案内を行った。 ○健診時異常にあたり、当院受診後生活習慣改善のため栄養指導を行った。	健診担当 広報 栄養科
		羽生総合病院	・情報発信を行い関心を促し受診へ導く。 ・早期発見の重要性を案内し、特定健診（成人病健診も含む）へ繋がるように医療相談を積極的に開催していく。	○情報発信を行い受診案内をすることができた。 ○健診受信がしやすいように広報にも案内を交え多くの方へ利用の案内が出来た。 ○受診可能な日程を増やし、受診できやすいように体制を整えた。	健康管理センター
		済生会加須病院	○健診センターにおける特定健診や健康診断を通じて、糖尿病だけでなく、メタボリック症候群等のハイリスク患者を抽出し、常駐する健診センター医師や保健師から詳細な説明と二次検診の必要性について案内する。 ○特定保健指導（積極的・動機づけ支援）の実施	○特定保健指導実施件数 98件 ○健康に関するチラシ配布 ○地域住民向けの健康に関する講演会の実施	健診センター
		新久喜総合病院	保健指導件数の前年度比増、特定健診の休日実施継続	休日受診・希望者への特定健診の実施 保健師の退職に伴い前年対比は減少	健康管理センター

		新井病院	○市民祭りにて特定健診につながる情報提供の案内 ○院内サイネージ・院内掲示・広報誌・パンフレット等で情報提供 ○受診率の向上	・久喜市主催の秋祭りにて特定健診受診の啓発活動を実施 ・院内サイネージ・院内掲示にて特定健診の啓蒙活動を実施 ・特定健診受診率の5%向上	多職種
		蓮田病院	後方活動を行い特定健診の受診推進。	市特定健診・後期高齢健診 受診者数1262名	検診センター
		栗橋病院	○外来待合に特定健診受診案内の掲示 ○かかりつけ患者受診時に特定健診受診指導	・外来待合に特定健診受診案内の掲示 ・かかりつけ患者受診時に特定健診受診指導	医局 事務部
		堀中病院	管理栄養士による栄養指導の推進 特定健診の受診推奨 特定健診の受け入れ強化	管理栄養士による指導約50件 特定健診約300件受診	関係各部署
		東埼玉総合病院	○糖尿病患者の教育プログラムのさらなる充実を図る ・糖尿病教育入院 ・フットケア外来 ・透析予防プログラム ・治療中断予防プログラム ・生活習慣病予防祭りの開催 ・糖尿病栄養指導（個人）	糖尿病教育入院患者数60名。 フットケア外来379件。 透析予防外来患者数155件。 生活習慣病予防祭りは2025年11月に一部再開予定。	診療部 看護部 栄養士 地域医療推進部 医療クラーク室
		白岡中央総合病院	○行政との連携による糖尿病重症化予防の推進 ○糖尿病看護認定看護師による無料相談	○行政との連携による糖尿病重症化予防の推進 ○糖尿病看護認定看護師による無料相談を実施	健康管理課
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	糖尿病性腎症重症化予防対策の実施	北埼玉医師会	○埼玉県の糖尿病重症化対策事業に協力すると共に、協会けんぽの同事業にも協力する。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	各医療機関が協力。	各医療機関が協力。 行田中央総合病院による糖尿病患者会、市内公開講座等での啓発。	会長
		羽生市薬剤師会	糖尿病性腎症についての病識・薬剤の知識をブラッシュアップし患者指導に活かす	会員薬局の薬剤師が個別に研修会へ参加し得られた知見を患者指導に活用	理事
		幸手薬剤師会	会員薬局において地域住民への糖尿病性腎症重症化予防の啓蒙活動	管理栄養士配置薬局2店舗では、重症化予防の栄養相談実施。	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	腎機能への影響を踏まえた服薬支援	腎機能に応じた薬剤調整や服薬指導（例：NSAIDsの使用注意、利尿薬の管理）	
		行田中央総合病院	○糖尿病透析予防プログラムの拡充 ○糖尿病患者会活動を通じての啓発活動の充実 ○院内イベントにおける糖尿病関連講演等の実施 ○行田市公開講座等行政主催イベントへの講師の派遣 ○薬剤師会との連携により市内12か所の薬局でHbA1c測定し異常者の受け入れ	○糖尿病透析予防プログラムの拡充 ○糖尿病患者会活動を通じての啓発活動の充実 ○院内イベントにおける糖尿病関連講演等の実施 ○行田市公開講座等行政主催イベントへの講師の派遣 ○薬剤師会との連携により市内12か所の薬局でHbA1c測定し異常者の受け入れ	外来他
		羽生総合病院	・栄養指導を積極的に行う。	○予防対策として栄養指導を受診されている方へ積極的に介入することができた。	広報広告委員会・栄養科
		済生会加須病院	○健診や外来にて蛋白尿を指標にして糖尿病性腎症の拾い上げを積極的に実施する。腎臓内科と協力して、腎臓内科受診を勧奨する。	○糖尿病患者さんに対し、定期的に尿検査（尿中アルブミン）を評価し、必要時、腎臓内科受診を勧めた。	診療統括部 （糖尿病内科）
		新久喜総合病院	糖尿病性腎症重症化要望対策事業への行政（久喜市）との連携	久喜市との連携による糖尿病性腎症重症化要望対策事業への参加	総務課
		新井病院	○埼玉県糖尿病性腎症重症化予防対策事業に参加し、対象者へ受診勧奨及び保健指導を実施	・糖尿病性腎症重症化予防対策事業における保健指導候補者3推薦	医局

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体		蓮田病院	1) 健康診断にて有所見者に対しての外来受診勧奨。 2) 外来入院の栄養食事指導及び資料配布。 3) 外来待合室モニターによる啓発。	1) 受診勧奨数 90名 2) 外来栄養食事指導（304件）、入院栄養食事指導（104件） 3) 実施	検診センター 栄養科
		栗橋病院	・健康診断の異常値結果者に対する受診案内	・健康診断とは別に結果をお渡しする際に受診案内を実施した。	医局・事務部
		東埼玉総合病院	○糖尿病性腎症重症化予防プログラムのさらなる充実 ○かかりつけ医と専門医等との連携強化 ○二次保健医療圏内の腎臓内科医との連携による重症化予防の推進 ○ハイリスク者への受診勧奨・治療中断の防止 ○行政との連携による糖尿病重症化予防の推進 ○糖尿病性腎症重症化予防研究会の実施	○糖尿病性腎症重症化プログラムのさらなる充実に努めた ○かかりつけ医と専門医等と連携強化を図った ○二次保健医療圏内の腎臓内科医との連携による重症化予防の推進を行った ○ハイリスク者への受診勧奨・治療中断の防止を行った（未受診者へ電話連絡） ○行政との連携による糖尿病重症化予防の推進を行った	診療部 外来看護部 地域医療推進部 医療クラーク室
		白岡中央総合病院	○広報誌等への掲載を行い、啓蒙活動を行う。 ○看護外来や教育入院時に、療養指導等を行う。 ○糖尿病教育入院パスの活用	○院外広報誌に2回／年掲載した。 ○療養指導件数95件／年 ○糖尿病教育入院パス 9件	看護部 （糖尿病認定 看護師）
		北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理 事
	専門職による糖尿病患者への保健指導の充実	行田市医師会	健康課と保健指導の充実についての協議。	健康課と保健指導の充実についての協議をした。	会長
		北埼玉歯科医師会	○県歯科医師会糖尿病関連講習会への参加	○県歯科医師会糖尿病関連講習会への参加	会員
		行田市歯科医師会	糖尿病と歯周病の関連性についてのポスターの掲示	糖尿病と歯周病の関連性についてのポスターの掲示	会員
		埼玉葛西歯科医師会	埼玉葛西点窓口歯科衛生士への研修会を実施	未実施。次年度、実施予定。	理事
		羽生市薬剤師会	糖尿病治療及び関連医薬品講習会への参加	会員薬局の薬剤師が個別に研修会へ参加し得られた知見を患者指導に活用	
		杉戸・宮代薬剤師会	会員薬局において生活習慣改善に向けたアドバイスを実施	血糖降下薬やインスリン等の正しい使用法・タイミングの説明 低血糖時の対応方法やセルフモニタリングのポイントの助言 「薬の効果を高めるには運動・食事も大切」といった行動変容を促す声かけ	
		行田中央総合病院	○糖尿病患者会活動を通じての啓発活動の充実 ○院内イベントにおける糖尿病関連講演等の実施 ○行田市公開講座等行政主催イベントへの講師の派遣 ○糖尿病透析予防プログラムの充実 ○糖尿病患者会「はらペコ倶楽部」の実施	○糖尿病患者会活動を通じての啓発活動の充実 ○院内イベントにおける糖尿病関連講演等の実施 ○行田市公開講座等行政主催イベントへの講師の派遣 ○糖尿病透析予防プログラムの充実 ○糖尿病患者会「はらペコ倶楽部」の実施	関係各部署
		行田総合病院	○糖尿病患者への積極的介入	○入院・外来患者への積極的介入を行い、栄養指導を実施した。前年比でも指導件数は増加した。 （令和5年度 147件→令和6年度 303件）	栄養科
		羽生総合病院	○糖尿病教育入院の実施、個別に栄養指導を実施。 ○予備軍などで指導が必要な方で栄養指導を受けていない方等へ情報発信を行う（内科系）	○入院されている人に退院後の生活について栄養指導する事ができた。 ○内科系の診療に積極的に介入することができた。	健康管理 センター 栄養科
		済生会加須病院	○外来及び病棟において、定期的な患者啓発活動を行う。	○外来においては栄養指導、入院患者さんに対しては糖尿病教室を開催し、治療普及に努めた。	診療統括部 （糖尿病内科）
		新井病院	○栄養指導の強化 ○糖尿病委員会毎月の開催 ○糖尿病教室の開催	・栄養指導件数増加 ・毎月糖尿病委員会の開催を実施 ・年4回の糖尿病教室を実施	多職種

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体		栗橋病院	・栄養指導の推進	・栄養指導の件数増加	栄養科
		国立病院機構 東埼玉病院	○入院患者に対しての栄養に関する食事指導（減塩教室）を月1回実施する。	○入院患者に対しての栄養に関する食事指導（減塩教室）を年間3回実施した。	診療支援部 （栄養管理室）
		白岡中央総合病院	○看護外来を継続し、糖尿病および疑い患者やその家族の支援を行う。	○療養指導件数 95回／年	看護部 （糖尿病認定 看護師）
	保健指導を担う 専門職のスキル アップと連携体 制の推進	北埼玉医師会	○当医師会主催の学術講演会等を通じ会員の糖尿病治療のスキルアップを計る。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	行田中央総合病院にて各種研修を行う。	行田中央総合病院において健康管理センター専門職が各種研修を受講した。	会 長
		行田市歯科医師会	県歯科医師会糖尿病関連講習会への参加	県歯科医師会糖尿病関連講習会への参加	会 員
		埼玉歯科医師会	埼玉歯科医師会糖尿病関連講習会への参加	未実施。次年度、実施予定。	理 事
		幸手薬剤師会	糖尿病治療及び関連講習会への参加	研修会参加	会 長
		杉戸・宮代薬剤師会	薬局を地域の支援拠点とする体制づくり	薬局を「地域保健の身近な相談窓口」と位置づけ、相談体制の整備	
		行田中央総合病院	○健康管理センターの専門職による各種研修受講	○健康管理センターの専門職による各種研修受講	診療部 看護部 技術部
		羽生総合病院	・職員を対象とした勉強会を開催する。 ・コロナ禍が収束し院外の勉強会へ関係職員を積極的に参加させる。	○職員への周知等行う事が出来た	各部署
		済生会加須病院	○院内研修として糖尿病に関わる勉強会を実施する。	○糖尿病病棟における定期的な勉強会を看護師向けに行った。	診療統括部 （糖尿病内科）
		蓮田病院	研修参加開催の継続。	継続実施中。	栄養科 看護部
		白岡中央総合病院	○糖尿病治療・看護に関する院内研修の開催を行い職員のスキルアップを図る。 ○学会・研修会へ参加し、最新情報を糖尿病療養支援チームで共有し、質の向上に努める。	○院内研修会 4回／年実施、外部訪問看護ステーション等外部団体向け6回／回 ○勉強会 2回／年実施	看護部 （糖尿病認定 看護師）

第 8 次地域保健医療計画 利根保健医療圏 圏域別取組の令和 6 年度取組実績調査票

3 在宅医療の推進

（目標）

- ・ 患者が安心して在宅医療を受けられるように、包括的かつ継続的な医療提供体制を推進します。
- ・ 医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、歯科衛生士、介護支援専門員（ケアマネジャー）、介護職員など医療と介護の多職種が連携したチームで、患者・家族をサポートする体制を推進します。
- ・ ICT を活用して医療・介護に関する様々な情報を医師、看護師、介護職員などの各職種間で共有し、安心・安全なサービスを効率的に提供します。
- ・ 地域の病院や有床診療所とかかりつけ医との連携を強化し、地域完結型の医療提供を推進します。

実施主体	主な取組	機関名	令和 6 年度実施計画	令和 6 年度取組実績	担当部署
		北埼玉医師会	○引き続き加須市・羽生市から事業委託を受け、北埼玉医師会立北埼玉在宅医療連携室（平成 30 年度から受けている）が在宅医療・介護連携する業務を実施する。	概ね計画通り実施した。	北埼玉在宅医療連携室
		行田市医師会	在宅医療拠点を行田中央総合病院に依頼し、同病院を核として連携医療機関が在宅医療を行う。 月 1 回在宅連携医療機関が医師会館で情報交換会を行う。	在宅医療拠点を行田中央総合病院に依頼し、同病院を核として連携医療機関が在宅医療を行う。 月 1 回在宅連携医療機関が医師会館で情報交換会を行う。	会長
		南埼玉 郡市医師会	○平成 30 年度から「在宅医療サポートセンター事業」を開始し、医師会事務局と蓮田市内の診療所に相談窓口を設置するなど、各市町及び地域包括支援センターと定期的に連携を図り、在宅医療・介護連携を支援する業務を行う。	各市町等関係機関と連携・協力し、南埼玉郡市在宅医療・介護連携推進事業（久喜市、蓮田市、白岡市及び宮代町より業務委託）を推進。令和 6 年度においては、各市町開催の研修会等においてサポートセンター業務等の周知を図るとともに、昨年度に引き続き管内医療機関と在宅医療・介護関係者との連携強化を図るため研修会を開催。	会長
		北葛北部医師会	・ 地域の医療・介護の資源の把握 ・ 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討 ・ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進 ・ 医療・介護関係者の情報共有支援 ・ 在宅医療・介護連携に関する相談支援 ・ 医療・介護関係者の研修 ・ 地域住民への普及啓発	・ 在宅医療・介護マップの更新、地域の医療・介護の資源の把握業務 ・ 地域包括ケア会議、ケアカフェの開催 ・ 北葛北部在宅医療・介護連携推進会議への協力、在宅医療カンファ（事例検討）の実施 ・ ICTシステム活用における情報共有とMCSの活用、災害・救急時における医療と介護および地域との連携 ・ 暮らしの保健室や地域まるごと電話相談等の相談支援 ・ 介護支援専門員研修会・入退院支援検討会の開催 ・ 市民の集い、暮らしの保健室の活動、みんなのカフェ、住民主催の地域ケア会議、ピアサポート、ACP普及啓発講話会、住民へのパンフレット発行	地域ケア拠点推進室
		北埼玉歯科医師会	在宅医療・介護連携推進協議会への参加	在宅医療・介護連携推進協議会への参加	会員
		行田市歯科医師会	行田市在宅医療・介護連携推進協議会への参加	行田市在宅医療・介護連携推進協議会への参加	理事
		羽生市 歯科医師会	在宅医療・介護連携推進協議会への参加	在宅医療・介護連携推進協議会への参加	会長
		埼葛歯科医師会	埼葛拠点窓口の活動強化	研修会を通じ、拠点窓口歯科衛生士と情報共有し連携を強化した。	理事

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	在宅療養を支援する連携体制の推進	羽生市薬剤師会	在宅医療・介護連携推進協議会への参加	介護認定審査会への参加と助言	理事
		幸手薬剤師会	在宅医療・介護連携推進協議会及び講習会への参加	介護認定審査会への参加と助言。他職種連携会議への参加。	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	地域医療・介護との連携強化	訪問診療医・訪問看護師・ケアマネジャー等との情報共有体制の構築 地域ケア会議・医療介護連携会議への薬剤師会としての参画 共通の課題を共有し、在宅支援の顔の見える関係づくり	
		行田中央総合病院	○在宅療養支援病院として、連携する3医療機関との連携強化 ○北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点との連携強化 ○訪問看護ステーションとの連携強化 ○栄養ケアユニットを併設し栄養面での在宅連携体制を充実	○在宅療養支援病院として、連携する3医療機関との連携強化 ○北埼玉地区在宅歯科医療推進窓口地域拠点との連携強化をおこなった ○訪問看護ステーションとの連携強化を行った ○栄養ケアユニットを併設し栄養面での在宅連携体制を推進	地域連携室 看護部
		行田総合病院	○在宅機関との定期的な情報交換 ○入院時からの早期退院支援の実施 ○近隣施設と協力医療連携関係を増やす	○在宅機関へ訪問し、当院の広報誌など提供し情報交換を行った。 ○MSWが早期介入して地域のケアマネジャーとコミュニケーションをとり、退院支援について情報共有を行った。 ○複数の介護施設（デイなど）の協力医療機関になり、定期的にカンファレンスを行い在宅復帰支援サービスを向上させた。	MSW
		羽生総合病院	・地域医療機関との意見交換、情報共有を行う。 ・院内で在宅診療に関わる部署間のスムーズな連携を行う。	・地域医療機関との意見交換、情報共有を行え紹介なども円滑に行うことができた。 ・院内にて介護部門、医療部門が円滑に情報共有ができ連携の強化を図ることができた。	地域医療サポートセンター
		済生会加須病院	○入退院支援センターの専任看護師とMSWが共働し、ケアマネジャーとの連携を密に行う。 ○訪問診療の医師に情報提供し、患者の入院中も連携を取り合うことにより密な連携体制を構築する。	○入院時や退院時、また状況変化時には、担当の看護師やMSWがケアマネジャーへ電話連絡やFAXでの情報提供書などで共有している。 ○退院に向けて新たに在宅支援が必要になった時には、リハビリ見学や退院前カンファレンス、また患者の状態や自宅環境整備など必要に応じて退院前後の同行訪問を行っている。 ○令和6年度の実績は、介護連携と退院時共同で130件、退院前後訪問は2件、相法の医師が参加してのカンファレンスは7件であった。	入退院支援課
		新久喜総合病院	外部医療従事者や院内多職種によるカンファレンス実施	病院連携の会による、顔の見える関係性の構築及び連携の強化を図った	地域連携室
		蓮田病院	在宅療養に向けての入退院支援、在宅療養生活の支援、急変時の対応、在宅における看取りなど在宅医療を担う医療や介護の関係機関相互の連携強化。 研修会開催・参加など。	在宅医療・介護連携研修参加。 南埼玉郡市医師会医療サポートセンターの研修参加。 在宅療養中、療養困難な方への入院支援・入院相談実施。	地域医療連携室 看護部
		蓮田よつば病院	○認知症初期集中支援チームの活動促進。 ○院内における多職種連携カンファを定期的実施し、認知症患者様へのアプローチと結果についての見える化を図る。	○行政との連携により認知症初期集中支援チーム活動の啓蒙、促進活動を行う ○院内における多職種連携カンファを定期的実施し、認知症患者様へのアプローチと結果についての見える化を図った。	QOL推進部

		栗橋病院	○退院支援を積極的に行い、医療と介護事業者の連携を強める。	退院支援を積極的に行い、医療と介護事業者の連携を行った。	地域医療連携室
		東埼玉総合病院	○ACP普及啓発 ○在宅緩和ケアの推進 ○入退院支援の質向上 ○医療介護のさらなる連携を推進するために、地域包括支援センターを囲んでの意見交換会「地域包括ケア会議」を定期開催	○ACP普及啓発の講演会開催（3回開催 参加者延134名） ○緩和ケア研修（1回開催 参加者45名） ○入退院支援意見交換会（2回開催 参加者72名） ○地域包括ケア会議（10回開催、参加者延96名）	地域ケア拠点推進室
		白岡中央総合病院	○在宅療養支援のための受け入れ病院としての役割の実践 ○白岡市リハビリ連絡協議会 リモート会議（3回/年） ○地域ケア会議 理学療法士（3回/年） 作業療法士（6回/年） ○利根圏域協力医療機関会議参加（2回/年）	○レスパイト入院の実績が95件に上り、前年度より増加した。 ○白岡市リハビリ連絡協議会 リモート会議（2回/年） ○地域ケア会議 理学療法士（3回/年） 作業療法士（5回/年） ○利根圏域協力医療機関会議参加（2回/年）	地域・医療連携部 リハビリテーション技術科
		北埼玉医師会	○ACP及び在宅緩和ケアの普及・啓発するための人材育成に関する会議及び研修会を開催する。	概ね計画通り実施した。	北埼玉在宅医療連携室
		行田市医師会	包括ケアの中心として多職種連携会議及び各種研修会を行う。	包括ケアの中心として多職種連携会議及び各種研修会を行う。 在宅医介連携支援センターで、月300件程度の相談。 三師会、強化型包括、在支センター、行政と1/2MO協議あり。 それぞれの関係団体につなぎ多職種協働を推進。	会長
		北埼玉歯科医師会	地域ケア会議への参加	地域ケア会議への参加	会員
		行田市歯科医師会	・地域ケア会議への参加	・地域ケア会議への参加	会員
		埼玉葛歯科医師会 久喜市歯科医師会	地域連携病院との連携強化 在宅医療・介護関係者への参加依頼	研修会を通じ、多職種と情報共有し連携を強化した。 久喜市主催の在宅医療・介護関係者研修会への参加	理事 会員
		久喜市歯科医師会	在宅医療・介護関係者研修会への参加	久喜市主催の在宅医療・介護関係者研修会（2回開催）への参加	会 員
		羽生市薬剤師会	地域ケア会議への参加	地域ケア会議への参加・助言	理事
		杉戸・宮代薬剤師会	*医療・福祉連携の場への参画 *薬剤師の相談窓口機能	*医療・福祉連携の場への参画 地域ケア会議、退院時カンファレンス、在宅支援会議等への参加 *薬剤師の相談窓口機能 患者や家族からの不安・疑問に応える**“身近な専門職”としての窓口役**	
		行田中央総合病院	○行田市医師会の在宅連携拠点である在宅医療支援センターの運営を受託し、在宅医療における医師、歯科医師、コメディカル等を紹介する「在宅主治医等紹介システム」の運営を実施 ○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催するミーティングへの参加 ○多職種連携会議への職員の派遣及び協力 ○在宅における訪問栄養指導の実施 ○「公益財団法人認知症の人と家族の会」の支部として家族支援	○行田市医師会の在宅医療支援センターを受託運営。在宅医療における医師、歯科医師、コメディカル等を紹介する「在宅主治医等紹介システム」の運営を行った ○行田市・医師会・歯科医師会・薬剤師会が連携して月1回開催するミーティングに医師が参加 ○多職種連携会議への職員の派遣及び協力をした ○在宅における訪問栄養指導の実施をした ○「公益財団法人認知症の人と家族の会」の支部として家族支援を行う	地域連携室等

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	患者・家族を支える多職種協働の推進	行田総合病院	○退院時カンファレンスの実施 ○多職種連携会議や地域のケアマネ会への参加、協力 ○法人内の介護施設や在宅支援サービスの利用	○患者・家族の状況に応じて多職種によるカンファレンスや介護指導を行った。 ○セラピストが多職種連携会議へ参加し、意見交換を行い情報共有を図った。 ○院内のMSW、法人内の介護施設や在宅支援サービスの利用	地域医療連携室 MSW
		羽生総合病院	訪問リハビリ、訪問介護、居宅介護支援センター等で連携を行い、医療、介護の枠を超えた患者本位の支援体制を構築する。	・退院後の患者本位の支援体制にて構築したものを介護部門と地域医療サポートセンターとで円滑に行うことができた。	介護部門 地域医療サポートセンター
		済生会加須病院	○退院後の患者さんの健康管理に向けて、当院及び地域の訪問看護ステーションと在宅診療医との連携を深める。	○継続している訪問診療や在宅関係者へは、情報提供書や電話連絡などで対応している。 ○新規での訪問診療や在宅関係者とも同様に連携を行い、必要時には、在宅関係者と退院前カンファレンスを行い情報共有している。 ○かかりつけ患者や在宅診療医からの紹介受診などを受入れている。受入れ時には紹介状要請、その後の対応は報告書を送付している。	入退院支援課
		新久喜総合病院	退院後の患者さんの健康管理に向けて、当院及び地域の訪問看護ステーションと在宅診療医との連携を深める	施設への転院、在宅への復帰を含め退院時に多職種によるカンファレンスの実施	地域連携室
		国立病院機構 東埼玉病院	○平成30年度から訪問看護ステーションを開始し、看護師・医師と連携を密にし、病院から在宅への移行または状態変化時の病院の受け入れ態勢を円滑にする。	○看護師・医師と連携を密にし、病院から在宅への移行または状態変化時の病院の受け入れを積極的に行った。また、地域への連絡会議等への参加や関係施設への訪問を行う等、地域の中での関係づくりを構築する活動も積極的に行った。	訪問看護ステーション・地域医療連携室
		蓮田病院	A C Pを普及・啓発し、患者本人が意思決定できる体制の整備。 勉強会・研修会参加と行政や介護連会などでの情報共有。	退院支援看護師への意思決定支援の勉強会実施。	地域医療連携室 看護部
		蓮田よつば病院	○家族会、認知症カフェや認知症予防教室の継続実施。	。○認知症カフェ、家族会、認知症予防教室などを実施し、地域住民に対し、認知症の啓蒙活動、認知症があっても安心して生活できる地域づくりに向けて実施している。また、近隣地域への開かれた相談窓口として、地域医療相談室が中心となり、相談しやすい対応、環境づくりを実施している。	地域医療相談室、QOL推進部
		栗橋病院	行政等の主催する連携の会等に積極的に参加する。	・東埼玉総合病院、新久喜総合病院の地域連携の会に参加 ・令和6年度第1回在宅医療、介護関係者研修会 ・獨協医科大学連携医療談話会総会 ・茨城西南医療センター連携の会	地域医療 連携室
		東埼玉総合病院	○定期的学習会および交流会の開催 ○医療介護のさらなる連携に向けた会議の開催 ○在宅医療啓発イベントの開催 ○医療と介護の一体的な提供体制の構築	○定期的学習会および交流会「ケアカフェ☆幸せ杉」 (2回実施、参加者延118名) ○北葛北部在宅医療介護連携推進協議会への協力 (2回開催) ○在宅医療を考える「市民の集い」の開催 (令和6年1月26日(日)開催 参加者75名) ○地域丸ごと何でも相談 相談者635人	地域ケア拠点推進室

		白岡中央総合病院	○地域多職種連携を意識した入退院支援ルールの実践 ○リハビリテーション総合実施計画書での患者・家族との目標の共有。（回復期病棟計画書説明90%） ○入院時カンファレンスにて早期の患者情報の多職種共有（回復期病棟入棟者入院時カンファレンス実施100%） ○訪問リハビリ提供単位1642回（月）	○南埼玉郡入退院支援ルールの実践を行っている。 ○回復期病棟計画書説明92% ○回復期病棟入棟者入院時カンファレンス実施100% ○訪問リハビリ提供単位1776回（月）	地域・医療連携部 リハビリテーション技術科
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	ICTによる在宅医療・介護連携ネットワークシステムの推進	北埼玉医師会	○既に稼働しているMCSを用いた「北彩あんしんリンク」の更なる充実に努める。また新しくバージョンアップした「とねっと」の在宅医療・介護連携への活用にチャレンジする。	概ね計画通り実施した。	北埼玉在宅医療連携室
		行田市医師会	各医療機関でMCSを活用。	各医療機関でMCSを活用。 医介連携推進協議会で研修会の開催。 1/MO推進協議会、作業部会で協議。	会長
		南埼玉郡市医師会	○「メディカルケアステーション」（MCS）の運用ポリシーに基づき、その普及啓発を進め、医療・介護関係者の情報共有の円滑化を図る。	○「メディカルケアステーション」（MCS）の運用ポリシーに基づき、当会WEBサイト等によりその普及啓発に努めるとともに、令和6年度においては、周知・普及、利用率向上を図るため管内の医療・介護関係者に対し研修会を開催。	会長
		北埼玉歯科医師会	メディカルケアステーション（MCS）への参加促進	メディカルケアステーション（MCS）への参加促進	会員
		行田市歯科医師会	○メディカルケアステーション（MCS）への参加促進	実績なし	会員
		羽生市薬剤師会	各薬局での継続したMCSの活用	在宅応需薬局において活用中	会長
		幸手薬剤師会	MCSを引き続き活用し情報の提供及び普及啓発する	在宅応需薬局では、MCSの活用。	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	MCS（メディカルステーション）を活用し、連携を図る。	継続して会員薬局に『杉戸・宮代薬剤師会』グループへの参加を呼びかけている。	
		行田中央総合病院	○行田市医師会によるMCS（メディカルケアステーション）導入推進への協力 ○行田市医師会が進めるMCSの活用を進める	○行田市医師会によるMCS（メディカルケアステーション）導入推進への協力 ○行田市医師会が進めるMCSの活用	診療部 地域連携室他
		行田総合病院	○MCS活用の推進	○MCS活用の促進を行った。	MSW
		羽生総合病院	介護支援専門員を通じて積極的に行う。	介護支援専門員・院内の担当部署にて積極的に推進することができた。	介護部門 地域医療サポートセンター
		新久喜総合病院	MCS活用の検討	引き続きMCS活用を検討	地域連携室

		蓮田病院	医師、歯科医師、薬剤師、看護職員、歯科衛生士、介護支援専門員、介護職員など医療と介護の多職種が互いの専門的な知識を活かしながらチームとなって、患者・家族をサポートしていく体制を推進。カンファレンスの際、多職種も参加させる。	CM・訪問看護師・訪問診療医とのカンファレンスを退院前に開催した。開催時当院からはリハビリや栄養士も参加した。「わんコネ」入退院システム導入し病病間、病施設間でのやりとりを開始した。	入退院支援室
		蓮田よつば病院	〇構築した院内情報共有ネットワークと電子カルテ導入との比較検討を行う。	〇引き続き、構築した院内情報共有ネットワークと電子カルテ導入との比較検討。	事務部
		栗橋病院	在宅診療システムの導入検討を行う。	次年度に整備計画を持ち越し	事務部
		東埼玉総合病院	〇「MCS」運用の浸透 〇「MCS」利用事業所数と利用者数の加増	〇「MCS」運用の浸透 訪問活動 322件 〇「MCS」利用状況 利用者数 167人	地域ケア拠点推進室
		白岡中央総合病院	〇MCSを引き続き活用し連携深める。	〇MCSを使って各職種情報共有して支援につなげているが、地域にまだ普及できておらず、限定的な利用となっている。	地域・医療連携部
医療機関 医師会 歯科医師会	地域完結型医療の推進	北埼玉医師会	〇地域完結型医療の推進には市民の理解が不可欠である。かかりつけ医を持つこと等を含めて市民に問いかけることを行政と伴に推進する。	概ね計画通り実施した。	会 長
		行田市医師会	歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、介護施設との連携及び病院との病診連携を行う。	歯科医師会、薬剤師会、訪問看護ステーション、介護施設との連携及び病院との病診連携を行う。 医師会主催健康フォーラムにて各団体の参加を促し連携を深め病院-診療所-施設-在宅の切れ目ない医療を推進する。	会長
		北埼玉歯科医師会	在宅歯科医療推進窓口の活用	在宅歯科医療推進窓口の活用	会員
		行田市歯科医師会	在宅歯科医料推進窓口の活用	在宅歯科医料推進窓口の活用	会員
		杉戸・宮代薬剤師会	1. 在宅療養に必要な薬物治療の継続支援 2. 地域内医療機関・介護事業者との情報連携	1. 在宅患者への定期的な訪問服薬指導による服薬支援 急変時や終末期を見据えた医療用麻薬や緩和ケア薬の適切な管理 2. 入退院時や訪問診療との間での薬剤情報の共有・調整	
		行田中央総合病院	〇行田市医師会在宅連携拠点と連携して、かかりつけ医との連携を図る 〇行田市歯科医師会、薬剤師会との連携強化 〇高機能医療機器共同利用促進	〇行田市医師会在宅連携拠点と連携して、かかりつけ医との連携を図った 〇行田市歯科医師会、薬剤師会との連携強化を行った 〇在宅支援ベッドR6/3479件 〇高機能医療機器共同利用促進R6/240件	地域連携室他
		行田総合病院	〇かかりつけ医との連携強化 〇紹介患者の受入及び逆紹介の推進	〇近隣の医療機関に定期的に訪問し、広報誌や診療体制表など情報共有を図った。 〇紹介患者を積極的に受け入れ、また逆紹介の促進も行い地域のかかりつけ医と連携が図れた。	地域医療連携室 MSW
		羽生総合病院	・地域医療機関との意見交換、情報共有を積極的に行う。 ・院内で関わる部署間のスムーズな連携を行う ・地域の医療機関よりの紹介を積極的に受け入れる。	・地域医療機関との意見交換、情報共有を積極的に行えた。 ・院内で関わる部署間のスムーズな連携を行えた ・地域の医療機関よりの紹介を積極的に受け入れできた。 ・地域の医療機関へ訪問し連携することができた	地域医療サポートセンター 退院調整管理委員会

薬剤師会 各団体	推進	済生会加須病院	○紹介患者への対応と救急医療の提供という地域医療支援病院としての役割を果たす。 ○地域医療機関へ当院トピックスを適宜チラシなどで情報発信する。	○紹介率80%以上を維持し、24時間365日救急搬送車の受入れ体制を整備し、三次救急の救命救急センターを設置している。 ○地域連携だよりを毎月発行し、地域医療機関・行政・市民の皆様に向けて様々なトピックスを発信した。	地域連携課
		新久喜総合病院	病診連携の会の開催	病診連携の会を開催し地域医療機関、関係各所との連携強化	地域連携室
		蓮田病院	地域の病院や有床診療所とかかりつけ医との連携強化に努め地域完結型医療を推進します。 訪問医との連携を強化→営業やカンファレンス等の参加。	介護支援連携指導や退院調整カンファレンス施行。 「わんコネ」入退院システム導入し病診間でのやりとりを開始。 訪問診療導入や訪問看護導入時にカンファレンス実施。	入退院支援室 看護部
		蓮田よつば病院	○認知症専門病院として、全身状態軽快後の認知症症状による在宅復帰が困難事例についての受け入れを強化し、認知症症状安定後に地域施設や自宅への退院を促進していくことを実践。 ○近隣クリニック、急性期病院等からの連携を強化し、認知症患者様のスムーズな地域移行に向けて迅速に対応できるよう調整する。 ○地域ケア会議への積極的な出席。 ○地域住民に対する認知症ケア、認知症予防活動の推進を図る。	○認知症専門病院として、全身状態軽快後の認知症症状による在宅復帰が困難事例についての受け入れを強化し、認知症症状安定後に地域施設や自宅への退院を促進していくことを実践。→平均在院日数の減少につながる。 ○近隣クリニック、急性期病院等からの連携を強化し、認知症患者様のスムーズな地域移行に向けて迅速に対応できるよう調整、実施。 ○地域ケア会議への積極的な出席。 ○地域住民に対する認知症ケア、認知症予防活動の推進を図る。自治会等での講演、啓蒙活動を実施。	地域医療相談室、QOL推進部
		栗橋病院	療養病床の統合整備状況を広く近隣医療機関に周知を行い、連携体制の強化に努める。	空床状況の連絡等積極的に行なった。	医療連携室
		東埼玉総合病院	○地域ケア会議の開催 ○地域包括ケアのワンストップ相談窓口である「暮らしの保健室」の設置場所を各地域に拡充 ○地域包括ケアシステムの中核的役割を担う。	○住民主催の地域ケア会議（3回実施、参加者延70名） ○地域包括ケア会議（10回開催、参加者延96名） ○暮らしの保健室（開催249回、参加者延1,568名）	地域ケア拠点推進室
		白岡中央総合病院	○市民公開講座開催を12月に予定	○市民公開講座「急な体調変化への対応～となりの人を救うのはあなたです！！～」を3月に実施した。（参加者41名）	地域・医療連携部

第 8 次地域保健医療計画 利根保健医療圏 圏域別取組の令和 6 年度取組実績調査票

4 健康づくり対策

（目標）

- ・ 健康寿命の延伸と健康格差のない地域の構築を目指します。
- ・ 生活習慣（栄養・食生活、身体活動・運動、休養・睡眠、口腔衛生、喫煙等）を改善し、病気発症を予防する「一次予防」を推進します。
- ・ 多様な主体による健康づくりを推進します。
- ・ 生活習慣病の発症予防・重症化予防を推進するため、関係機関と連携した保健指導を進めていきます。
- ・ 特定健康診査、がん検診の受診率の向上に努め、特定保健指導の実施率向上を目指します。

実施主体	主な取組	機関名	令和 6 年度実施計画	令和 6 年度取組実績	担当部署
		北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	市の関連会議に参加協力。	市の関連会議に参加協力。健康フォーラムの開催。 健康増進食育推進計画の策定に委員長として主体的に関わり各団体とのワーキンググループを組織立案する。 鉄剣マラソンで健康ブースを設置し呼吸器運動器検診を行う。	会長
		南埼玉 郡市医師会	○会員医療機関において、特定健診 28, 000 件を実施予定	○会員医療機関において、特定健診 25, 978 件を実施	会長
		北埼玉歯科医師 会	・ 歯周疾患検診の実施 ・ 後期高齢者歯科検診の実施 ・ 次世代デンタル検診（20～30代）の実施 ・ オレンジカフェなどによる認知症予防講座	・ 歯周疾患検診の実施 ・ 後期高齢者歯科検診の実施 ・ 次世代デンタル検診（20～30代）の実施 ・ オレンジカフェなどによる認知症予防講座	会員
		行田市歯科医師 会	・ 歯周疾患検診の実施 ・ 後期高齢者歯科検診の実施 ・ 次世代デンタル検診（20～30代）の実施 ・ オレンジカフェなどによる認知症予防講座	・ 歯周疾患検診の実施 ・ 後期高齢者歯科検診の実施 ・ 次世代デンタル検診（20～30代）の実施 ・ オレンジカフェなどによる認知症予防講座	会員
		羽生市 歯科医師会	成人歯科健診（妊婦歯科健診、歯周疾患検診、口腔機能健診）の実施 及び検査に基づき、保健指導又は他医療機関への紹介	成人歯科健診の実施	会員
		埼葛歯科医師会 久喜市歯科医師 会	8020 高齢者よい歯のコンクールの開催と啓発活動の強化 個別成人歯科健診の実施 後期高齢者歯科健診の実施	8020 高齢者よい歯のコンクールを開催し、歯と健康についての啓発活動を行った。次年度も継続予定。 個別成人歯科健診の実施 後期高齢者歯科健診の実施	理事 会員
		久喜市歯科医師 会	個別成人歯科健診の実施 後期高齢者歯科健診の実施	個別成人歯科健診の随時実施 後期高齢者歯科健診の随時実施	会員
		羽生市薬剤師会	羽生市福祉健康まつりへ参加し健康相談・おくすり相談実施	福祉健康まつりへ参加し薬の相談や健康相談実施	会長
		幸手薬剤師会	健康福祉まつりへの参加し健康相談及びお薬相談実施 世界骨粗鬆症 Day in 幸手への参加	健康福祉まつりに参加。お薬相談会実施。	会長

杉戸・宮代薬剤師会	薬局での日常的な一次予防支援	・薬剤師が日常業務の中で、来局者へ予防的アドバイスや声がけ（例：塩分摂取、飲みすぎ、喫煙など） ・薬局内での健康情報の掲示や配布物の活用	
行田中央総合病院	○院内イベントにおける健康啓発講演や各種展示の実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師派遣 ○行田市等行政、公共団体等が行う講演会等への講師の派遣 ○認知症カフェを定期開催の実施 ○子宮頸がんワクチンの推進	○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師派遣を行った ○行田市等行政、公共団体等が行う講演会等への講師の派遣を行った ○広報誌・病院ブログ等で健康情報を発信 ○認知症カフェを定期開催し各専門職より啓発 ○子宮頸がんワクチンの実施	関係各部署
行田総合病院	○特定健診や人間ドックの充実	○ホームページなどで健診の案内を促し、健康診断実施を促すことで疾病の早期発見とその後のフォローを実施した。	広報
羽生総合病院	○地域の住民を対象に医療講演を開催し自身の健康について意識付けを行う。 ○医療機関と連携を図り、健康教育や保健指導といった予防医療を強化する。	・地域の住まわれている方を対象にした、医療講演を実施し健康についての意識づけを行うことができた。 ・医療機関と連携を図れた。その結果健康教育や保健指導に関して寄与することができた。	地域医療サポートセンター
済生会加須病院	○市民公開講座の開催による生活習慣病予防の普及啓発の実施。 ○市民主催の出前講座への医師等の派遣実施。	○市民出張講座を年11回開催し、家庭でできるリハビリ運動や栄養管理方法、健康診断や検診の勧奨などについて講義し市民の健康増進に繋がる講座を実施した。 ○医師の出前講座を年3回開催し、市民団体や行政主催の健康講座へ医師を派遣した。	地域連携課
新久喜総合病院	巡回健診を中心とする、健康づくりへの指導強化 健康教室の開催する	健康教室による生活習慣病予防に関する知識の啓蒙	健康管理センター
新井病院	○市民祭りにて特定健診につながる情報提供の案内 ○院内サイネージ・院内掲示・広報誌・パンフレット等で情報提供	・久喜市主催の秋祭りにて特定健診受診の啓発活動を実施 ・院内サイネージ・院内掲示にて特定健診の啓蒙活動を実施	看護部 総務
国立病院機構 東埼玉病院	○近隣市町の地域住民を対象として「市民健康講座」等を継続開催し、生活習慣病予防等の啓発を行う。 ○看護の日イベントとして、地域住民への医療、お薬、栄養相談等を実施する。 ○「難病相談支援センター事業」及び「エイズホットライン事業」等において県との連携を強化するとともに、難病に対する支援体制の整備又は市民、関係者に対して研修会等を行う。	○近隣市町の地域住民等を対象とした「市民健康講座」は感染症拡大防止のため中止とした。 ○看護の日イベントを5月8日（水）に開催した。 ○難病相談支援センター事業及びエイズホットライン事業における各種相談事業や県民及び院内外関係者に対する研修会を開催した。	内科、看護部、 地域医療連携室、 難病相談支援室
蓮田病院	ホームページ等を活用した情報提供。	随時更新を実施した。	診療部 経営企画室
栗橋病院	○敷地内全面禁煙の継続 ○健康診断実施時等における禁煙指導の継続	○敷地内全面禁煙の継続 ○健康診断実施時等における禁煙指導の継続	事務部・医局
新しらおか病院	・認知症カフェ、オレンジ保健室に参加し、地域住民の相談窓口を幅広く構える ・地域のイベントや勉強会に参加し、認知症予防の啓発活動を行う ・近隣の医療機関と居宅介護支援事業所に訪問。情報収集や情報共有を行い、連携強化に努めていく	・認知症カフェ、オレンジ保健室に参加。地域住民には傾聴を行い、行政の方々とは意見交換を行いました。また相談窓口を設けたり、受診相談や入院前相談等も行いました ・近隣の医療機関の勉強会に出席。医療機関同士の交流会にも参加し、情報収集や意見交換、課題や問題点を共有しました	地域連携室

白岡中央総合病院	○介護予防教室開催（6回/年） ○認知症カフェ開催（6回/年）	○介護予防教室開催（6回/年） ○認知症カフェ開催（6回/年）	健康管理課 リハビリテーション技術科
加須市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進員を対象に講話や調理実習を通して生活習慣病予防（特に糖尿病及び高血圧予防）の普及啓発である定例リーダー研修会の実施（4回予定）。 ○健康づくりや生活習慣病予防をテーマとした伝達活動（調理実習含む）の実施。 ○自主活動の実施。 ○食生活改善推進員協議会主催による市民を対象とした健康づくりや生活習慣病予防に関する講座（調理実習含む）の開催 ○市主催集団健診（北川辺会場）において資料配布やポスター、呼びかけ、モデル展示等を通じて減塩についての普及啓発。 ○市主催健康まつりでの野菜摂取の推進及び減塩の普及啓発。 ○日本食生活協会・県からの委託事業の実施	○食生活改善推進員を対象に講話や調理実習を通して生活習慣病予防（特に糖尿病及び高血圧予防）の普及啓発である定例リーダー研修会の実施（4回実施 延べ56名参加）。 ○健康づくりや生活習慣病予防をテーマとした伝達活動（調理実習含む）の実施（12回実施 延べ228名参加）。 ○自主活動の実施（23回実施 延べ413名参加）。 ○食生活改善推進員協議会主催による市民を対象とした健康づくりや生活習慣病予防に関する講座（調理実習含む）の開催（9回実施 185名参加）。 ○市主催集団健診（北川辺会場）において資料配布やポスター、呼びかけ、モデル展示等を通じて減塩についての普及啓発（5回実施 延べ581名配布）。 ○市主催健康まつりでの野菜摂取の推進及び減塩の普及啓発（騎西加須・北川辺地域の2回実施 延べ441名参加）。 ○日本食生活協会・県からの委託事業の実施 ・高齢者世代 1回実施 22名参加 ・生活習慣病予防 1回実施 24名参加 ・生涯骨太クッキング 1回実施 23名参加	いきいき健康医療課
羽生市食生活改善推進員協議会	○食生活改善推進員の研修 ○骨検診受診者へのリーフレット配布 ○食生活改善推進員が主催する伝達活動（調理実習）の実施	○食生活改善推進員の研修 ○骨検診受診者へのリーフレット配布 ○食生活改善推進員が主催する伝達活動（調理実習）の実施	健康づくり推進課
幸手市食生活改善推進員協議会	○健康福祉まつりにて展示やレシピの展示を行い、生活習慣病予防につながる食生活や健康づくりに関する知識の普及・啓発	○健康福祉まつりにてレシピの展示を行い、生活習慣病予防につながる食生活や健康づくりに関する知識の普及・啓発をした。	健康増進課
白岡市食生活改善推進員協議会	○埼玉県産米料理教室の実施（市民対象） ○市主催の彩りフェスタにおいて野菜摂取推進レシピの試食品提供 ○食生活改善推進員が主催する伝達活動（定例会）の実施	○埼玉県産米料理教室実施（参加者8名） ○市主催の彩りフェスタにおいて野菜摂取推進レシピの試食品提供（参加者350名） ○食生活改善推進員が主催する伝達活動（定例会）の実施（28人×6回） ○バッククッキング（災害時の調理方法）の実施（会員9名）	健康増進課
宮代町食生活改善推進員協議会	○バランスのよい食生活について普及啓発を行う。 ○親子料理教室、幼児食教室の開催。 ○「生活習慣病予防のための食生活改善支援事業」として、生活習慣の改善に向けた講話やヘルシーメニュー（1食あたり野菜120g以上、塩分3g未満）の紹介を行う。	○料理講習会：8回実施 ○親子料理教室：8月実施、23人参加 幼児食教室：11月実施、2名参加 ○生活習慣病予防のための食生活普及事業：1月実施、22人参加	健康介護課 健康増進担当
北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理 事
行田市医師会	各学校に講師を派遣し、喫煙予防講話を行う。	各学校に講師を派遣し、喫煙予防講話を行う。 20歳を祝う会でのアンケート防煙講演を行う。 中学校職場体験学習参加企業の敷地内禁煙を推進する。 鉄剣マラソン、健康フォーラムでの啓発。	会長
北埼玉歯科医師会	施設敷地内禁煙の実施	施設敷地内禁煙の実施	会員

医療機関
医師会
歯科医師会
薬剤師会
各団体

禁煙支援・受動喫煙防止対策の推進

行田市歯科医師会	禁煙啓発ポスターの院内掲示	禁煙啓発ポスターの院内掲示	会員
羽生市薬剤師会	羽生市福祉健康まつりでの禁煙啓発活動の実施 薬物乱用防止教室を通じた喫煙防止教育への講師派遣	福祉健康まつりで喫煙の害に関するポスター掲示・相談 薬物乱用防止教室を通じた喫煙防止教育への講師派遣	会長
幸手薬剤師会	薬物乱用防止活動及び禁煙防止活動の実施	市内小学校にて、薬物乱用防止教室実施。	会長
杉戸・宮代薬剤師会	禁煙相談・支援の実施（薬局での対応）	薬局窓口での禁煙相談受付・アドバイス 禁煙補助薬（ニコチンパッチ等）の適正使用の指導・継続支援	
行田中央総合病院	○院内イベントにおける禁煙啓発講演や各種展示の実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師を派遣 ○行田市、行田市医師会に協力し、市内イベントでの禁煙啓発活動の実施 ○禁煙外来の強化	○院内イベントにおける禁煙ポスター展示を実施 ○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師を派遣 ○行田市、行田市医師会に協力し、市内イベントでの禁煙啓発活動の実施 ○禁煙外来の強化を図った	関係各部署
羽生総合病院	医療講演・院内健康講座を開催し、禁煙を促す。 敷地内禁煙を継続し、職員へ禁煙啓蒙活動を行う。	・敷地内禁煙を実施し、医療講演などでも禁煙を促すことができた。 ・職員への禁煙への啓蒙活動も行うことができた。	医療安全管理委員会 各部署
済生会加須病院	○敷地内禁煙及び禁煙に関する院内掲示を継続する。 ○喫煙中の患者に対する禁煙推奨。	○外来受付窓口や待合エリアに「当院は敷地内禁煙」である旨を継続掲示し来院者へ啓蒙している。 ○禁煙外来を再開することができなかった。	地域連携課
新久喜総合病院	敷地内禁煙等ポスター掲示 巡回健診時における健康指導時における啓蒙 健康教室の開催による地域住民への啓蒙 職員健康診断時の喫煙状況に調査及び喫煙者を対象とした禁煙の啓蒙	職員喫煙率の調査及び禁煙への啓蒙活動を含めた院内研修会の実施 健康教室での地域住民への禁煙啓蒙	健康管理センター
新井病院	○禁煙外来の実施 ○敷地内全面禁煙の継続 ○サイネージ等での禁煙に対する啓蒙活動	・禁煙外来の継続 ・敷地内全面禁煙の継続 ・サイネージにて喫煙者への禁煙外来推奨	多職種
国立病院機構東埼玉病院	○外来診療枠に、毎週（木曜午後／予約制）禁煙外来を設け、受診希望の患者の禁煙指導を行う。	○禁煙外来については、担当医不在等により休止している。	呼吸器科
蓮田病院	敷地内全面禁煙の継続。 禁煙外来の継続。 院内掲示板にて啓発。	敷地内全面禁煙の継続。 禁煙外来の継続。 院内掲示板にて啓発。	経営企画室
蓮田よつば病院	○施設内禁煙実施の継続	○施設内禁煙実施の継続	事務部
栗橋病院	院内掲示の継続	院内掲示の継続	事務部
堀中病院	敷地内禁煙の継続 産業医による面談等	敷地内禁煙の継続 産業医による面談の実施	関係各部署

		白岡中央総合病院	○禁煙外来の継続 ○敷地内禁煙の継続 ○産業医活動において（禁煙についての啓蒙）	○禁煙外来の継続した ○敷地内禁煙の継続した ○職員へ禁煙の推奨（アンケート調査など実施）	総務人事課 健康管理課
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	多様な主体による 健康づくりの推進	北埼玉医師会	○地域産業保健センターの運営主体として、埼玉県産業保健総合支援センターの指導のもと、加須市、羽生市の従業員50人未満の事業所の労働者の健康増進、保健向上のための各種事業を行う。窓口健康相談会、サテライト健康相談、事業場訪問、面接指導、説明会、健康講話等。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	産業保健センターを通して中小企業の健診を進め、また、その結果について相談を受ける。	産業保健センターを通して中小企業の健診を進め、また、その結果について相談を受ける。 企業、教育、医介他団体と健康増進計画に基づいて推進する。	会長
		北埼玉歯科医師会	医療フォーラムへの参加	医療フォーラムへの参加	会員
		行田市歯科医師会	・ 歯周疾患検診の実施 ・ 後期高齢者歯科検診の実施 医療フォーラムへの参加	・ 歯周疾患検診の実施 ・ 後期高齢者歯科検診の実施 医療フォーラムへの参加	会員
		羽生市薬剤師会	看護協会と協力した健康指導	埼玉県看護協会利根支部の協力による「まちの保健室」事業実施	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	会員薬局を拠点にした支援体制の構築	地域住民が気軽に立ち寄れる**「健康相談窓口」機能** 災害時や感染症流行時における地域医療情報の発信源としての役割	
		行田中央総合病院	○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師派遣 ○行田市等行政、公共団体等が行う講演会等への講師の派遣 ○認知症カフェを定期開催の実施	○行田市医師会、教育委員会と連携し、小学校での禁煙教育への講師を派遣（再掲） ○行田市等行政、公共団体等が行う講演会等への講師の派遣を行った（再掲） ○認知症カフェを定期開催し各専門職より啓発	関係各部署
		行田総合病院	○医師や看護師を企業に派遣し、健康のための指導を実施 ○栄養教室の実施	○企業に訪問し、健康指導を行った。 ○栄養教室は今年度は実施できなかった。	地域医療連携室 栄養科
		羽生総合病院	ふるさと納税にてPETCT、人間ドックの特典を構築し、ご本人やご家族が受けられるように整える。	ふるさと納税で当院の特典を活用された方が検査や人間ドックを受けてもらう事ができた。	健康管理センター 総務課
		済生会加須病院	○近隣の自治体が主催する健康イベントにおいて、健康相談、医療相談のブースを設置するなど、定期的に健康増進のための働きがけを行う。	○健康相談・医療相談に関しては、近隣自治体からの依頼はなかったが、自治体主催のマラソン大会では、メディカルランナーとして参加した。	看護部
		新久喜総合病院	健康教室の開催	医師、看護師、そのた医療従事者による健康教室の実施	地域連携室
		新井病院	○市民講座にて予防医療の推進 ○ワクチン接種や健康診断の受診率向上を目指した啓発活動	・ ワクチン前年比より接種率向上	看護部 総務

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体		蓮田病院	特定健診・企業健診の強化。 ワクチン接種への協力。	市特定健診・後期高齢健診・社保特定 受診者数2228名。 ワクチン総接種者459名。	検診センター
		栗橋病院	健康診断等の受診しやすい啓発媒体の整備	ホームページの改修や料金表の明示を行った。	事務部
		白岡中央総合病院	○産業医活動（健診有所見者への受診勧奨・ストレスチェック面談・メンタルヘルス・長時間対象者面談／健康相談及び指導、復職支援） ○各種健康診断・人間ドックの受診促進 ○婦人科検診拡大に向けた準備 ○白岡市元気はつらつ応援事業（3回/年） ○オレンジ保健室事業参加（3回/年）	○産業医活動（健診有所見者への受診勧奨・ストレスチェック面談・メンタルヘルス・長時間対象者面談／健康相談及び指導、復職支援）をそれぞれ実施した。 ○各種健康診断・人間ドックの受診促進を実施 ○婦人科検診室を開設し婦人科健診事業の拡大した。 ○白岡市元気はつらつ応援事業（4回/年） ○オレンジ保健室事業参加（4回/年）	健康管理課 リハビリテーション技術科
		杉戸町食生活改善推進員協議会	○町民（成人）対象の各種料理教室の開催 ・食生活改善を目的とした料理教室：5回 ・埼玉県内産米料理教室：1回 ・生涯骨太クッキング：1回	○町民（成人）対象の各種料理教室の開催 ・食生活改善を目的とした料理教室：5回 ・埼玉県内産米料理教室：1回 ・生涯骨太クッキング：1回 ・手作りお菓子教室	健康支援課
	生活習慣病の発症 予防・重症化予防 の推進	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	市の依頼を受け講習会の講師を派遣。	市の依頼を受け講習会の講師を派遣。 健康増進食育推進支援計画を策定し協議会の立ち上げを行う。 保健と介護予防の一体化。 本来の推進を二次骨折予防などに市に申し入れDM腎症予防と合わせて推進する。	会長
		北埼玉歯科医師会	・歯周疾患検診の実施 ・後期高齢者歯科検診の実施 ・次世代デンタル検診（20～30代）の実施 ・オレンジカフェなどによる認知症予防講座	・歯周疾患検診の実施 ・後期高齢者歯科検診の実施 ・次世代デンタル検診（20～30代）の実施 ・オレンジカフェなどによる認知症予防講座	会員
		行田市歯科医師会	歯周疾患検診の実施	歯周疾患検診の実施	会員
		羽生市薬剤師会	会員薬局において健康相談会や健康測定会の実施	会員薬局にて個別相談会や体組成計などを使用した筋肉量などの測定により生活習慣のアドバイス実施	会長
		幸手薬剤師会	会員薬局において生活習慣病資料の配布	各薬局にて、生活習慣病予防のための相談会実施。	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	服薬アドヒアランスの向上支援	継続的な服薬支援や副作用管理、飲み忘れ防止策の提案 処方医へのフィードバックを通じて医療との連携強化	
		行田中央総合病院	○特定健診の受入れ体制の強化 ○特定保健指導の受診勧奨の強化 ○近隣企業への生活習慣病への資料を送付 ○生活習慣病日曜検診の実施 ○マンモサンデーへの実施	○特定健診 1908件 ○特定保健指導 111件 動機づけ支援 86件 積極的支援 25件 ○近隣企業への生活習慣病への資料を送付 ○生活習慣病日曜検診の実施 ○マンモサンデーへの参画	健康管理 センター

行田総合病院	○栄養指導の充実	○高血圧、糖尿病等さまざまな疾患への栄養指導を行った。	栄養科
羽生総合病院	・医療講演にて生活習慣病についての意識付け。 ・各種健診の案内と受診しやすい環境づくりを進める。	・医療講演にて生活習慣病についての意識に寄与できた ・各種健診の案内と受診しやすい環境づくりを調整することができた。 ・新しい検査方法など増やし、検査可能な日程も増やし受診される方へ環境づくりができた。	健康管理センター
済生会加須病院	○特定保健指導（積極的・動機づけ支援）の実施 ○健診センターにおける特定健診や健康診断を通じて、生活習慣病に対する個別指導を実施	○特定保健指導実施件数 98件 ○健康に関するチラシ配布 ○地域住民向けの健康に関する講演会の実施	健診センター
新久喜総合病院	健康教室の開催	健康教室による生活習慣病予防に関する知識の啓蒙	地域連携室
新井病院	○栄養指導の強化 ○糖尿病委員会毎月の開催 ○糖尿病教室の開催	・年4回の糖尿病教室を実施 ・栄養指導件数増加 ・毎月糖尿病委員会の開催を実施	多職種
蓮田病院	特定保健指導の実施。	特定保健指導者数（動機づけ支援）2名。	検診センター
栗橋病院	健康診断後のハイリスク患者さんに対する受診啓発	診察の受診案内を行った。	事務部・医局
白岡中央総合病院	○健診有所見者に対し、専門外来受診への受診勧奨促進、早期治療による重症化予防	○健診有所見者に対し、それぞれ実施した。	健康管理課
北埼玉医師会	○医師会員は学校医の立場でそれぞれの学校保健委員会を通じて食育に関する指導を個々に行う。	概ね計画通り実施した。	理 事
行田市医師会	学校医が各校で講話を行う。	学校医が各校で講話を行う。 健康増進食育推進支援計画を策定し協議会の立ち上げを行う。 食育推進計画に基づいてワーキンググループを組織立案する。 市内養護教諭対象「肥満」その他の研修を行う。	会長
北埼玉歯科医師会	学校保険員会等での講話	学校保険員会等での講話	会員
行田市歯科医師会	・学校歯科医師、園医による講話	・学校歯科医師、園医による講話	会員
久喜市歯科医師会	○久喜市主催の食育や健康に関するイベントへの参加 ○学校歯科医による小中高等学校・特別支援学校での講話	久喜市主催のKUKI健幸・スポーツフェスタに参加して市民への啓発活動を行った。 学校歯科医による小中高等学校・特別支援学校での歯科保健講話を行った。	会 員
幸手薬剤師会	市内小中学校保健委員会で講話	学校保健委員会に参加、市内小中学校にて講話。	会長

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	地域、学校、保育 所等における食育 等の推進	杉戸・宮代薬剤師会	健康相談を通じた食習慣の改善支援	薬局窓口における食事・栄養に関する助言（例：減塩の工夫、間食・飲料の見直し） 生活習慣病予防を目的とした食生活改善支援	
		行田中央総合病院	○学校保健委員会での健康講話 ○行田市食支援の会を発足し摂食嚥下予防に関する支援	○学校保健委員会での健康講話の実施 ○併設の栄養ケアユニット・言語聴覚士・管理栄養士の活動として地域への食育支援	
		羽生総合病院	・地域の学校にて生徒、保護者、職員を対象に食育についての医療講演を開催する。 ・訪問した際にアンケートを配布し良い点悪い点疑問点等の情報を収集しフィードバックを行っていく。	○地域の方々向けに公民館にて食育に関して医療講演を開催する事ができた。学校にて開催には至らなかった。 ○高校生より病院の入院食への質問インタビューを受け入院患者さんへの対応方法などレクチャーした。	地域医療サポートセンター 栄養科
		済生会加須病院	○食育等の推進活動に対して、依頼があれば参加していく。	○依頼がなかったため、実施なし。	栄養科
		新久喜総合病院	健康まつり等における栄養指導・食育推進の啓蒙実施	健康まつりの開催による健康と食についての啓蒙	栄養科
		蓮田病院	蓮田市やさしさいきいきフェスティバル参加。（骨密度測定、栄養相談、高栄養補助食品配布）	栄養相談5件。	栄養科
		白岡中央総合病院	○小児科受診した食生活の見直しが必要な児童および母親に対する栄養指導	○小児科受診した食生活の見直しが必要な児童および母親に対する栄養指導	栄養科
		加須市食生活改善推進員協議会	○北川辺地域の小学生を対象に食育教室の開催	○北川辺地域の小学生を対象に食育教室の開催（1回実施 16名参加）	いきいき健康医療課
		羽生市食生活改善推進員協議会	○イベントにおける食育リーフレット配布 ○地産地消を目的としたお米を使った料理教室の開催	○イベントにおける食育リーフレット配布 ○地産地消を目的としたお米を使った料理教室の開催	健康づくり推進課
		久喜市食生活改善推進員協議会	○市（保健センター）からの委託事業として保健事業の協力や講習会を開催し、食を通して生活習慣病予防に役立つ知識の普及・啓発をする。 ・栄養バランス食講座の開催 ・骨の健康チェックの協力 ・骨粗しょう症予防講座の開催 ・生活習慣病予防講座の開催 ・おやこ料理教室の開催 ・女性の健康講座（貧血予防）の開催 ○市（公民館）や市民団体等からの依頼事業を開催し、食を通しての健康づくりを啓発する。 ・高齢者大学料理クラブ会員の料理指導 ・江面地区公民館事業での料理指導	○市（保健センター）からの委託事業として保健事業の協力や講習会を開催し、食を通して生活習慣病予防に役立つ知識の普及・啓発を図った。 ・栄養バランス食講座の開催 ・骨の健康チェックの協力 ・骨粗しょう症予防講座の開催 ・生活習慣病予防講座の開催 ・おやこ料理教室の開催 ・女性の健康講座（貧血予防）の開催 ○市（公民館）や市民団体等からの依頼事業を開催し、食を通しての健康づくりを啓発した。 ・高齢者大学料理クラブ会員の料理指導を行った。 ・コミュニティセンター等で料理指導を行った。	地域保健課
		幸手市食生活改善推進員協議会	○市内の小学生とその保護者を対象におやこ料理教室を開催	○市内の小学生とその保護者を対象におやこ料理教室を開催した。2回、計31人	健康増進課

第 8 次地域保健医療計画 利根保健医療圏 圏域別取組の令和 6 年度取組実績調査票

5 親と子の保健対策

（目標）

- ・ 親と子の悩みや不安を相談でき、必要な支援が受けられるような地域社会を目指します。
- ・ 不妊・不育症に関する支援を進めます。
- ・ 乳幼児のいる家庭の孤立化を防ぎ、育児支援や児童虐待の早期発見の機能を強化します。
- ・ 関係機関の連携を強化していくことにより、親と子の成長や発達を支援します。

実施主体	主な取組	機関名	令和 6 年度実施計画	令和 6 年度取組実績	担当部署
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	不妊に関する治療 費等への支援や専 門相談等の推進	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	市内の産婦人科で行う。	市内の産婦人科で行う。	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	薬局での服薬相談の実施 不妊治療中の患者に対する服薬管理・副作用相談	治療中のホルモン剤や排卵誘発薬等の服用サポート	
		行田中央総合病院	○不妊治療の受け入れ ○不妊に関する相談の受け入れ	○不妊治療の受け入れ ○不妊に関する相談の受け入れ	外来 (産婦人科)
		羽生総合病院	○産婦人科を受診しやすい環境作りの為、院内掲示を掲載を継続し、サポートセンターなどで相談される際にも個室で相談に乗る等、利用する人にとってより良い環境で来院出来るように、また他の医療機関を紹介する際にはスムーズに照会できるように医療機関との連携を図っていく。	○産婦人科を受診しやすい環境作りの為、院内掲示を掲載を継続できた。 ○サポートセンターなどで相談される際にも個室で相談に乗る等、利用する人にとってより良い環境で来院出来た。 ○対応している他の医療機関を紹介する事も対応できた。	産婦人科・ サポート センター
		山王クリニック	不妊診療の実施	概ね実施できた	
		北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	校医が担当。	校医が担当。 健康増進、自殺対策計画に基づいて市や関係団体と協議力を立ち上げる。	会長
		北埼玉歯科医師会	・母子保健事業への参加 ・ママパパ教室	・母子保健事業への参加 ・ママパパ教室	会員
		羽生市 歯科医師会	乳幼児歯科健診の実施。その際、虐待の疑いがないか早期発見に注意を払う。また口腔内の発育相談等の対応	乳幼児歯科健診の実施	会員
		幸手薬剤師会	学校薬剤師が薬物乱用防止教室開催参加	市内小学校にて薬物乱用防止教室開催。	会長

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	子供の心の健康に 関する相談や情報 提供の充実	杉戸・宮代薬剤師会	1. 薬局での相談対応・情報提供 2. 学校薬剤師としての関与	1. 保護者からの子どもの睡眠・情緒・ストレスに関する相談対応 子ども向けの薬（例：睡眠導入薬、精神安定薬など）の正しい使用に 関する説明・副作用フォロー 2. 教職員や養護教諭との情報共有による気づき支援（例：薬物依存・ 不眠傾向等の兆候）	
		行田中央総合病院	○小中学校における「命の授業」の実施	○小中学校における「命の授業」の実施、職員の派遣	産婦人科
		羽生総合病院	○小児科より対象者の方へ院内公認心理士によるカウンセリングへの 紹介の推進を継続する。	○小児科より対象者の方へ院内公認心理士によるカウンセリングへの 紹介の推進を継続できた。	小児科・ 公認心理士
		済生会加須病院	○発達障害、不登校や心身症の外来診療、入院診療の充実。初診待ち を少なくするため迅速に受け入れるよう努力。 ○臨床心理士による発達評価、カウンセリングの実施 ○病児保育による育児支援(当院職員の子どものみ)	○小児科常勤医は全員が神経発達症を診療可能な体制となり、症例数 増加、新規症例獲得につながった。初診受診日までの待ち時間短縮、 地域に合わせた発達支援を行っている。 ○令和7年度末で臨床心理士が退職予定であるため、人員確保が課題で ある。 ○職員のお子様が体調不良時でも安心して働くことができるよう病児 保育、保育中の看護師巡回、服薬支援を行った。実施計画通りに取り 組んだ。	診療統括部 (小児科外来)
		土屋小児病院	○臨床心理士によるカウンセリングの実地 ○病児保育による育児支援	○1回/週診察に臨床心理士が帯同し、医師と連携しながら診察を行っ た ○行政や学校関係者などと情報共有を行った	臨床心理士 病児保育室
		白岡中央総合病院	○育児の不安や疑問の解消（スキンケア等の乳児のお世話の仕方な ど） ○乳幼児健診希望者への健康診断の実施	○受診時になどに、育児に関する不安・疑問について、適宜相談を 行った。 ○希望者に対する健康診断の実施	小児科
		加須市 母子愛育連合会	○訪問による地域の子育て世代や高齢者への声かけや見守り ○三世代交流会の開催 ○子育て支援(七夕まつり・クリスマス会など) ○愛育だよりによる健康情報の提供	○訪問による地域の子育て世代や高齢者への声かけや見守り 435件 ○三世代交流会の開催 5回 ○子育て支援(七夕まつり・クリスマス会など) 28回 ○愛育だよりによる健康情報の提供 11回	すくすく子育て相 談室
		北埼玉医師会	○児童虐待の防止が一番の課題である。当医師会会長は約15年にわ たり加須市要保護児童対策協議会の構成機関の中核として児童虐待に 関する助言・指導を行ってきた。関係機関と更に一層の連携を計る。 ○当医師会立訪問看護ステーションは医療的ケア小児に対し、関係機 関と連携し引き続き質の高い看護サービスを提供する。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	医師会支援、多職種による「子ども発達相談講演会」を行い発達障害 などを支援する。	医師会支援、多職種による「子ども発達相談講演会」を行い発達障害 などを支援する。	会長
		北埼玉歯科医師会	・母子保健事業への参加 ・ママパパ教室	・母子保健事業への参加 ・ママパパ教室	会員

行田市歯科医師会	コミュニティ施設における講話	コミュニティ施設における講話	理事
久喜市 歯科医師会	○乳幼児歯科検診の充実 ○妊産婦歯科健診の充実	乳幼児歯科検診の充実と実施 妊産婦歯科健診の充実と実施	会員
杉戸・宮代薬剤師会	*薬局での育児支援 *小児科・産婦人科・学校・保育施設等と連携	*子育て中の保護者に対する育児・健康相談の窓口として機能 小児の薬の使い方や健康管理について丁寧な個別対応 *必要に応じて、服薬アドヒアランスの状況や副作用の懸念などを関係機関へ共有	
羽生総合病院	○時間外となる、土曜日の午後、日曜日、祝日の8時から17時まで小児科医を配置し、救急医療を継続する。	○病児保育受付開始できました ○病院祭にて赤ちゃん同窓会を実施できた。	産婦人科 関係部署
土屋小児病院	○情報共有の仕組みづくり ○人材育成、研修会の実施	○行政や学校関係者などと情報共有を行った	診療部
山王クリニック 山王ドーム クリニック	妊娠中から出産後まで、地域と連携し子育て支援を行う。 小児の予防接種実施、育児相談（来院、電話）の実施を継続する。	養育支援票を活用し、地域との連携を実施した。 1か月健診や予防接種の際に、声がけや計測など、フォローアップを行った。	
白岡中央総合病院	○小児予防接種の充実 ○児童虐待の早期発見体制を強化するため体制の整備を行う。	○小児予防接種の実施 ○マニュアルの改定を行い、救急外来を含め院内で共有を行い迅速に報告できる体制を構築した。	小児科 救急外来
羽生市母子愛育会連合会	○家庭訪問にて母子への声かけ活動、赤ちゃん誕生訪問の実施 ○各支部で母子で参加できるイベントの開催 ○研修会の開催	○家庭訪問にて母子への声かけ活動：112件、赤ちゃん誕生訪問の実施：141件 ○各支部で母子で参加できるイベントの開催： ベビーマッサージ教室、スイカ割り大会、グラウンドゴルフ大会、クリスマス会、豆まきなど ○研修会の開催：実技研修会（おもちゃ作り）、こども食堂について	
久喜市母子愛育会	○子育てイベントを開催する。 ○小学校の子育て体験学習に協力する。 ○赤花そば栗橋やさしさときめき祭りに参加する。	○子育てイベント「おやこ縁日」の開催 1回 ○小学校の子育て体験学習「赤ちゃんとおそぼ」に協力した。 ○赤花そば栗橋やさしさときめき祭りに参加し、親子で楽しめる催しを行った。	こども家庭保健課
幸手市 母子愛育会	○研修会の参加 ○いのちの大切さ事業（市内の小学生を対象に、助産師の講話及び赤ちゃん人形を用いた育児体験の実施）	○研修会の参加 3回 ○いのちの大切さ事業（市内の小学生を対象に、助産師の講話及び赤ちゃん人形を用いた育児体験の実施） 9回	健康増進課
蓮田市 母子愛育会	○妊産婦乳幼児の家庭への声掛け運動 ○各地区での母子で参加できるイベント（測定会、茶話会、七夕、ハロウィン、クリスマス会等）の開催 ○子育てミニフェスタ等への参加 ○研修会の開催 ○地域子育て支援拠点との連携	○妊産婦乳幼児の家庭への声掛け運動（年4回延511回） ○各地区での母子で参加できるイベント（測定会、茶話会、七夕、ハロウィン、クリスマス会等）の開催（年23回延447名参加） ○子育てミニフェスタ等への参加 ○研修会の開催 ○地域子育て支援拠点との連携	子ども支援課

医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体		白岡市 母子愛育会	○保健事業に協力：乳幼児健診、乳がん子宮がん検診 ○幼児教室等の開催（七夕・お月見・運動会・節分） ○各地区によるクリスマス会開催 ○赤ちゃん広場実行委員会による乳幼児の手形取り（実施出来ないときは色紙を配布） ○家庭訪問による声かけ運動の実施	○保健事業に協力：乳幼児健診、乳がん子宮がん検診 ○幼児教室等の開催（七夕）親子9組参加 協力班員27人 （お月見）親子11組参加 協力班員23人 （運動会）親子19組参加 協力班員23人 （クリスマス会）親子17組 協力班員15人 （節分）親子25組 協力班員21人 ○赤ちゃん広場実行委員会による乳幼児の手形取り（手形） 子ども65人参加 協力班員26人 健康まっつりに参加して実施 ○行政への事業協力（託児5回、班員14人） ○家庭訪問による声かけ運動の実施	子育て支援課
		杉戸町 母子愛育会	○年2回 母と子のつどいを開催 ○乳幼児へ「母と子のつどい」お知らせ家庭訪問 ○メッセージ入りマタニティキーホルダー・母子手帳カバー配布 ○保健センター事業への協力 ・ママパパ教室で技術協力（沐浴実習）	○年2回 母と子のつどいを開催（七夕・クリスマス） ○乳幼児へ「母と子のつどい」お知らせ家庭訪問：188件 ○メッセージ入りマタニティキーホルダー・母子手帳カバー配布187件 ○保健センター事業への協力 ・ママパパ教室で技術協力（沐浴実習）3回/年	健康支援課
	休日・夜間における適正な小児科受診の啓発	北埼玉医師会	○加須市からの委託事業として、当医師会員による母親向けの出前講座「子供の急病時の対応」を引き続き年4回開催する。適正受診に寄与することを期待する。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	行田総合病院、行田中央総合病院にて休日夜間小児、救急、輪番について啓発を行う。	行田総合病院、行田中央総合病院にて休日夜間小児、救急、輪番について啓発を行う。	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	情報提供・啓発	「こんなときはすぐに受診」など、県や医師会等のガイドライン資料の設置・紹介 子どもの発熱や咳に関する適正な受診判断の目安を掲示・配布	
		行田中央総合病院	○休日・夜間の小児救急・輪番について啓発を行う	○休日・夜間の小児救急・輪番について啓発を行う	外 来
		行田総合病院	○小児救急医療支援事業への継続的参加	○計画通り祝日の月曜・金曜の日中、月曜・金曜の夜間、第2・第4土曜の夜間に小児外来診療および小児救急診療体制を維持した。	救急部門
		羽生総合病院	○時間外となる、土曜日の午後、日曜日、祝日の8時から17時まで小児科医を配置し、救急医療を継続する。	○時間外となる、土曜日の午後、日曜日、祝日の8時から17時まで小児科医を配置し、救急医療を継続できた。 また木曜日に関しては夜間当直体も対応できるようにした。	小児科
		済生会加須病院	○土日祝の9：00～10：00は小児科医を配置 ○看護師による電話相談・トリアージの実施 ○小児救急支援事業へ輪番病院として参加	○実施計画通りに取り組んだ。	診療統括部 （小児科外来）
		土屋小児病院	○電話によるトリアージの実地	○実地できた	外来看護部
		蓮田病院	掲示物、配布物による情報提供の継続。	掲示物、配布物による情報提供の継続。	経営企画室

		白岡中央総合病院	○埼玉県救急電話相談（＃７１１９）、こどもの救急「＃８０００」の案内を行い、休日・夜間における適正な小児科受診の啓発を行う。	○総合案内、救急外来受付にポスター、パンフレットを設置	小児科
--	--	----------	--	-----------------------------	-----

第 8 次地域保健医療計画 利根保健医療圏 圏域別取組の令和 6 年度取組実績調査票

6 感染症医療

（目標）

感染症に罹患しても迅速・適切な検査・治療を受けることができ、感染拡大を最小限に抑える体制を構築します。また、新興感染症（新型インフルエンザ等感染症、指定感染症又は新感染症のことをいう。以下同じ。）の発生に対して、関係機関と連携して、平時から感染症の発生及びまん延を防止していくための医療提供体制を整備し、県民が安心して生活できる社会を目指します。

実施主体	主な取組	機関名	令和 6 年度実施計画	令和 6 年度取組実績	担当部署
		北埼玉医師会	診療検査医療機関が感染症のプライマリーケアを行う。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	医療機関にて1次医療を行い、各医療機関でワクチンを勧めていく。	医療機関にて1次医療を行い、各医療機関でワクチンを勧めていく。 年1回医療機関、介護施設、20施設200人を対象に感染対策講習会を施行。 地域BCPの提案を行う。	会長
		南埼玉郡市医師会	令和 5 年 5 月 8 日以降の 5 類感染症移行後においても管内医療機関においてワクチン接種、医療提供体制の整備を継続実施。	令和 5 年 5 月 8 日以降の 5 類感染症移行後においても管内医療機関において新型コロナウイルス感染症をはじめインフルエンザ、マイコプラズマ肺炎の流行といった複合的な感染症の流行が懸念されたことから、引き続きワクチン接種を実施するとともに、医療提供体制の整備を継続実施。	会長
		北埼玉歯科医師会	歯科健診時のフェイスガード、マスク、グローブの着用、及び手指の消毒の徹底、院内清掃・消毒の強化	歯科健診時のフェイスガード、マスク、グローブの着用、及び手指の消毒の徹底、院内清掃・消毒の強化	会員
		行田市歯科医師会	・歯科健診時のフェイスガード、マスク、グローブの着用、及び手指の消毒の徹底 ・院内清掃・消毒の強化	・歯科健診時のフェイスガード、マスク、グローブの着用、及び手指の消毒の徹底 ・院内清掃・消毒の強化	会員
		埼葛歯科医師会	歯科健診時のマスク、グローブの着用、および手指の消毒、器具滅菌の徹底	歯科健診時のマスク、グローブの着用、および手指の消毒、器具滅菌の徹底	理 事
		羽生市薬剤師会	薬局での抗原検査キット（インフルエンザ・新型コロナ）の設置と適切な使用方法の説明	設置薬局においては適切な対応を実施	理 事
		幸手薬剤師会	新型コロナウイルス感染予防及びクラスター対策の薬局内情報発信を実施	各薬局にて、抗原検査キットの販売、使用法説明。学校薬剤師による学校での感染対策指導。、	会長
		杉戸・宮代薬剤師会	1. 薬局での感染対策と情報提供 2. 服薬指導・相談対応による感染防止支援	1. 来局者へのマスク着用、手指消毒等の啓発と環境整備 感染症の予防接種情報や発生状況の周知（インフルエンザ、COVID-19 等） 2. 抗菌薬等の適正使用の指導（耐性菌対策） 発熱者への対応として事前連絡や外来対応体制の案内	会長

行田中央総合病院	○地域の介護施設等の協力医療機関として感染症発生時の対応方法の 取り決め ○第一種及び第二種協定医療機関として行政等と連携を強化し、指定 感染症又は新興感染症発生時の医療機関としての対応方法の取り決め	○地域の介護施設等の協力医療機関として協定を結び、感染症発生時 の対応方法について取り決めを行った。 ○行政と第一種及び第二種協定医療機関として協定を結び、指定感染 症又は新興感染症発生時の医療機関としての対応方法の取り決めを 行った。	
行田総合病院	○新型コロナウイルス感染症での対応を活かした、ゾーニングや感染 防護具の使用をきちんと行い、医療提供体制を継続する。	○各病棟の個室で陰圧管理をしながらかかりつけ以外にも広く対応し た。	看護部
羽生総合病院	感染症対策としてICT委員会を設置し活動する	感染症対策としてICT委員会を設置し活動できた。 感染症疑いの患者さんの受け入れも行う事が出来た。	ICT
済生会加須病院	○医療提供体制の整備（5類移行後は一般病棟・一般外来で対応） ○職員への啓発（研修・情報提供等） ○地域の感染対策推進 ・感染対策向上地域連携カンファレンスの開催 ・連携医療機関のラウンド・研修 ・保健所との連携活動（研修会の講師・COVMAT支援等） ・COVMAT（クラスター支援）やコンサルテーション対応等 による地域支援	1. COVID-19一般病棟・一般外来での対応継続 2. 新入職員研修・中途採用者研修・研修医研修・ICT講演会 部門別研修会による職員啓発 院内メール等による情報提供 3. 地域の感染対策推進 ①地域連携カンファレンスの開催（4回／年） ②連携医療機関のラウンド ・加算1：1施設、加算2：1施設、加算3：2施設 外来加算：1施設 近隣施設の研修 ・加算3：1施設 ③保健所との連携活動（研修会の講師・COVMAT支援等） ・保健所主催研修会講師2件 ・COVMAT支援2施設 ・近隣保健所の地域連携カンファレンス参加 （加須・幸手・古河 4回／年） ④市民セミナー講師3件 ⑤地域支援 ・COVMAT支援2施設（再掲） ・埼玉県感染症専門研修実習受け入れ4回（18名） ・コンサルテーション対応24件	感染対策室
新久喜総合病院	マスク・手洗い実施の啓蒙 入院時の新型コロナ感染有無の確認の徹底	毎月開催院内感染対策会議における感染対策の協議 引き続き院内でのマスク着用、手洗い等の徹底 入院時スクリーニング検査による院内への感染持ち込みの阻止	
新井病院	○院内の感染防止対策の徹底（アルコール消毒の設置・院内を消毒液 で除菌・面会制限・定期的な院内の換気・受付、診察室の飛沫防止） ○発熱外来の継続及び受け入れ数の増加 ○感染症患者の入院の受け入れ	・院内感染防止対策のマニュアル実行、必要であれば見直し ・発熱外来の継続的な実施。 ・感染症入院患者の入院の受け入れ	多職種
土屋小児病院	○感染対策に対する定期的な勉強会の実施 ○職員の抗体価の確認 ○地域連携の継続	○職員に対して麻疹のアンケートを行い、抗体価に応じて予防接種を 実施した ○流行していた感染症にかんする勉強会を職員に実施した ○地域連携カンファレンスに参加した	感染対策委員会
国立病院機構 東埼玉病院	第二種感染症指定医療機関として対象患者の受け入れを行う。	結核・新型コロナウイルス感染症等の患者受け入れを行った。	医事

		蓮田病院	・院内の感染対策状況を反映した感染対策研修や、新入職者を対象とした感染対策研修及び個人防護具の着脱訓練を実施する ・手指衛生環境の維持や整備のモニタリングと手指衛生サーベイランスを実施する。 ・COVID19感染症に関連した検査体制の精度管理を維持する。	・新入職者研修及び、少人数制で個人防護具着脱訓練を実施。また、COVID19感染症やインフルエンザ、ワクチン接種に関する院内感染対策研修を実施。 ・手指衛生サーベイランス結果を部門長が出席する委員会等でフィードバックを実施、使用量向上を検討した。 ・COVID19感染症に関する検査の精度管理をすることで、不備なく検査が実施できた。	感染制御室
		蓮田よつば病院	・周辺地域の感染症流行状況の把握に努め、スタッフに情報提供する。 ・入院前のPCR検査の実施。 ・入退院患者の発熱時や嘔吐時の対応を的確に行う。	・感染症委員会の中で周辺地域の感染症流行状況を発表し、スタッフに情報発信し、注意を促した。 ・入院前のPCR検査の実施した。 ・退院患者の発熱時や嘔吐時はマニュアルに沿って行動した。	感染対策委員
		白岡中央総合病院	○感染症疑い患者の動線の確保 ○職員への啓発（研修・情報提供等） ○地域の感染対策推進 ○職員に対する感染症の教育 ○地域への感染対策の推進	○感染患者の動線を確保し、積極的な患者受入を行った。 ○新入・中途入職者へ院内感染対策研修会による職員教育 ○周辺地域で発生した感染症情報を院内メール等で情報共有 ○地域の感染対策推進 - 地域連携カンファレンスの開催（4回／年） - 連携医療機関のラウンド（加算1：1施設、加算3：1施設、外来加算：3施設） - 連携施設の研修（高齢者施設：12施設、障害福祉施設：2施設） - 近隣保健所の地域連携カンファレンス参加（加須・幸手・古河 4回／年） ○地域のアウトブレイク時の対応（高齢者施設：2施設）	感染管理課
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	感染症の集団発生 時に対応できる医療 機関、社会福祉 施設等の整備	北埼玉医師会	加須市羽生市の総合病院を中心として行う	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	市内の2医療機関で入院体制を整備。 在医支センターをハブに開業医、訪問、施設等と連携する。	市内の2医療機関で入院体制を整備。 在医支センターをハブに開業医、訪問、施設等と連携する。	会 長
		羽生市薬剤師会	連携強化加算算定薬局においてはマスクや防護服・フェイスシールドなどの一定量の備蓄と感染症対策の研修を実施 各薬局でのBCP計画策定	計画通り実施	理 事
		杉戸・宮代薬剤師会	集団感染時の情報提供・相談対応	感染状況や対応方針について、薬局での説明・相談対応の実施 高齢者施設や障害者施設等からの服薬・感染対策に関する問い合わせへの対応	会 長
		行田総合病院	○感染管理の職員研修の実施 ○新型コロナウイルス感染症流行下での経験を活かした物品、施設管理を行う。	○職員研修を年2回行った。 ○用途係や施設係と連携し、感染症発生を想定した管理ができた。	感染防止対策部
		羽生総合病院	感染症対策としてICT委員会を設置し活動する	有事の際にはマニュアルにあるように適正に行動する準備することができた。	ICT
		新久喜総合病院	マスク・ガウン等の備蓄	ランニング備蓄としての確保	

		新井病院	○医療措置協定締結 ○入院患者受け入れ ○発熱患者の受け入れ	・入院患者最低3名受け入れ体制可 ・発熱外来1日20名まで受入強化 ・病床に新型コロナ患者の受け入れを確保する為、簡易陰圧装置を設置	多職種
		土屋小児病院	○感染症に対する外来、病棟の整備 ○医療資源、設備の備蓄管理 ○地域連携の継続 ○BCPの整備	○水痘、ムンプスなど小児特有の疾患に対して、感染外来を使用し動線を分けた ○感染防護具の消費量を把握し、適正に備蓄できるようにした	感染対策委員会 BCP委員会
		蓮田病院	・感染症集団発生時のマニュアル整備と薬剤耐性菌を含んだ感染症のモニタリングを実施し集団発生の防止を実施する ・近隣施設からの感染対策におけるコンサルテーションの受入れや必要時研修、指導等を実施し、適切な日常的対策の維持及び、有事の際の連携や対策を強化する ・地域医療機関との連携や加算連携会議の感染症発生訓練参加	・既存のマニュアルの見直しを実施し、耐性菌発生時や感染症発生等の週1回のレポート作成後、対策状況確認の介入を継続的に実施。 ・地域福祉施設等のコンサルテーション実施及び、地域福祉施設への感染対策研修や環境ラウンドの実施。 ・加算連携会議で感染症発生の机上訓練に参加、院内発生時対応の見直しを実施。	感染制御室
		白岡中央総合病院	○備蓄の管理と職員教育により集団発生時に速やかに患者を受け入れる体制の整備	○備蓄の管理と職員教育を行い、感染症罹患患者を速やかに受け入れた。	感染管理課
医療機関 医師会 歯科医師会 薬剤師会 各団体	定期予防接種率の 向上	北埼玉医師会	○単独事業の計画はないが、埼玉県、加須市、羽生市の事業に積極的に協力する。	概ね計画通り実施した。	理 事
		行田市医師会	行田市02化計画（頸がんワクチン+癌検診受診率向上）推進。 男子助成の啓発。 市と協議して公式LINE、ケーブルTV、その他で広報。 医師会主催健康フォーラムで啓発。	行田市02化計画（頸がんワクチン+癌検診受診率向上）推進。 男子助成の啓発。 市と協議して公式LINE、ケーブルTV、その他で広報。 医師会主催健康フォーラムで啓発した。	会長
		羽生市薬剤師会	患者来局時に予防接種実施の積極的な声かけ	計画通り実施	理 事
		杉戸・宮代薬剤師会	薬局での情報提供・個別啓発	乳幼児、高齢者等を対象にした定期接種（例：ヒブ、肺炎球菌、風しん、インフルエンザ等）の案内 ワクチンの種類やスケジュール、接種時の注意点についての相談対応	会長
		行田中央総合病院	○インフルエンザワクチン予防接種の実施 ○新型コロナワクチン予防接種の実施	○インフルエンザワクチン： 1621件 ○新型コロナワクチン： 832件	
		行田総合病院	○新型コロナウイルス感染症や帯状疱疹、各種小児予防接種など定期予防接種への協力を継続する。	○予防接種の呼びかけなどを行い定期接種へ協力した。	外来部門
		羽生総合病院	多くの予防接種を打てるように体制を整える。	希望頂戴しているワクチン接種の要望に概ね対応することができた。	薬局 医事課 予約センター
		新久喜総合病院	季節型インフルエンザ予防接種に実施	全職員を対象に季節型インフルエンザ予防接種の実施及び長期入院患者、かかりつけ患者への実施	

		新井病院	○新型コロナワクチン・インフルエンザワクチン等の予防接種の充実	・新型コロナワクチン・インフルエンザワクチンの接種率増加。	医事課 看護部
		蓮田病院	・医療従事者に対し、流行性ウイルス感染症の抗体価管理と接種率の把握、その結果に準じたワクチン接種を促す。 ・市民へのワクチン接種が実施できる体制を構築する。	・職員の流行性ウイルス感染症の抗体獲得情報を集約し、抗体価シートとして職員個々へ配付、抗体獲得率を部門、部署毎に把握し部門長が出席する委員会で提示。ハイリスク箇所においては平時からのワクチン接種を促し、今後接種率の推移を評価予定。 ・ワクチン接種の概要や必要性に関する院内感染対策研修を実施 ・市民へのワクチン接種については接種体制の構築を継続。	感染制御室
		白岡中央総合病院	○各種予防接種の充実	○各種予防接種の充実（肺炎球菌ワクチン、带状疱疹ワクチン、子宮頸がんワクチン等）	感染管理課